

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全21ファイルあり 評価表の見方はFILENo. 1にあります。  
評価一覧は、FILENo. 1の整理番号順目次をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
環境課 (その1)	573		環境部一般管理
	574		環境博覧会の開催
	575		環境保全対策の推進
	576		環境学習の推進
	577		エコスタッフ制度の創設 (環境配慮行動の拡充)
	578		低公害車の普及促進
	579		環境モニタリング調査
	580		クリーン大作戦
	581		空き缶 吸殻投げ捨て防止対策
	582		環境美化推進員
	583		あき地等の管理指導
	584		環境審議会運営
	585		ISO14001の推進
	590		ねずみ・昆虫駆除
	591		病害虫防除
	618		公害監視、調査、指導
	619		苦情処理、相談
	620		公害防止意識の啓発
	621		自動車排出ガス測定
	622		交通量調査
	623		交通騒音振動測定
624		鉄道騒音振動測定	
625		大気汚染常時測定	
626		河川水質測定	

**次のページへ**

清掃管理課 / リサイクル清掃課

**次の次のページへ**

西清掃事務所 / 東清掃事務所 / 清掃事業所

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
環境課 (その2)	627		光化学スモッグ対策
	628		冬期自動車交通量対策
	629		自然保護の啓発
清掃管理課	586		リサイクルの啓発
	587		コンポスト容器及び家庭用生ごみ処理機購入費助成
	588		リサイクル協会運営事業
	589		集団回収事業
	630		動植物生息状況調査・生き物アンケート調査
	632		総務管理
	633		清掃審議会の運営
	634		一般廃棄物処理計画の改定
	636		ごみ減量運動の普及・広報
	637		マイバッグの推進
	641		交通安全対策・安全管理
	642		交通事故処理対策
	647		ペットボトルの回収
	648		びん・缶・古紙回収
	649		ごみの収集、運搬
	654		一部事務組合等負担金

[前のページへ](#)
[次のページへ](#)

環境課 (その1)

西・東清掃事務所 / 清掃事業所

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全21ファイルあり、**評価表の見方はFILENo. 1**にあります。  
 評価一覧は、**FILENo. 1の整理番号順目次**をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
西・東清掃事務所	635		清掃関係表彰
西・東清掃事務所	638		清掃協力会
西・東清掃事務所	639		指導管理 (事業用大規模建築物への指導)
西・東清掃事務所	640		ふれあい指導
西・東清掃事務所	643	1	清掃事務所維持運営 (東清掃事務所)
西・東清掃事務所	643	2	清掃事務所維持運営 (西清掃事務所)
西・東清掃事務所	644		杉並中継所維持運営 (西清掃事務所)
西・東清掃事務所	650		不燃ごみ中継作業 (西清掃事務所)
西・東清掃事務所	651		ごみ処理手数料徴収
西・東清掃事務所	652		動物死体処理 (東清掃事務所)
西・東清掃事務所	653		し尿 粗大ごみ中継作業 (東清掃事務所)
清掃事業所	645		清掃事業所の施設、建物の維持管理 (清掃事業所)
清掃事業所	646		清掃車両 (ごみ収集車)の運行及び維持管理 (清掃事業所)

[前のページへ](#)

環境課 (その2) / 清掃管理課

[前の前のページへ](#)

環境課 (その1)

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境部一般管理		整理番号	573	枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課	コード	230101	連絡先電話番号	3703	昨年度整理番号	625
係名 庶務係		上位施策名					NO	
予算事業名		環境部一般管理	コード	54200	環境施策の総合的推進			16
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区組織条例 (2) 杉並区職員の旅費に関する条例 (3) 職員標準事務取扱要綱	
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		環境清掃部職員			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 業務上必要な事務用品類の購入		活動指標名 (式)		(1) 延べ出勤数  (2)	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		環境清掃事業の円滑な運営		成果指標名 (式)		(1)  (2)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の生活環境の向上								

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成
				計画	実績		年度	度	
指標	活動指標 (1)	件	267	395	120,297	118,500	116,604		
	活動指標 (2)	枚							
	成果指標 (1)								
	成果指標 (2)								

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成	
				計画	実績		年度	度		
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,128	2,070	3,676	2,160	4,224	特記事項		
	(内)委託費	千円				63	63	14年度から再生紙の購入について、部で一括購入することになったため事業費が増加した。13年度計画より一般管理は職員が職務遂行する上での基礎的なものであるため、活動指標として職員の延べ勤務日数とした。 14年度 職員 404人 (勤務を要する日 261日) 嘱託員 68人 (同192日)		
	職員数 (正規   非常勤)	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	13,610	13,613	13,613			13,613
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + + +	千円	15,738	15,680	17,289	15,773	17,837			
	単位あたりコスト ÷	円	58,942	39,695	144	133	153			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0			0
差引：一般財源 -		千円	15,738	15,680	17,289	15,773	17,837			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	組織改正による職員数の増減があり 特に12年度は清掃事業移管に伴い、職員数が大幅に増えた。旅費事務の確認事務が部の庶務に移された。超勤事務がシステム化された。14年度から再生紙を部で一括購入
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	
	今後の予測	会議の種類が多様化し、回数はなお増加が予想される。情報量が増加し、電子複写機への機能依存は高まる。全職員にパソコンが設置され、情報伝達及び提出書類のペーパレス化が推進されることにより、再生紙購入の需要が減となる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境博覧会の開催		整理番号	574	枝番号		
所属部課名	環境清掃部環境課	コード	230101	連絡先電話番号	3715	昨年度整理番号		
係名	環境都市推進担当	上位施策名				NO		
予算事業名	環境先進都市の創造	コード	65500	環境施策の総合的推進				16
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	13 年度	根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 杉並区21世紀ビジョン推進プラン 環境先進都市をめざす				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)				
	すべての区民、団体、企業。			(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			活動指標名 (式)				
区内の施設を主な会場として、毎年10月開催を基本に、区民・各種関係団体・企業・行政が協働して、環境についての理解を深め、日常生活や活動に結びつくよう、多彩な企画内容からなる環境イベントを開催する。			(1) イベント参加者数					
			(2) 参加・協力団体数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)			成果指標名 (式)					
環境に配慮する理念を共有し、区民、事業者、行政が協働することにより、推進環境配慮行動を広く地域に定着させる。			(1) イベント参加率 / (参加者 / 区人口)					
			(2) (代)参加・協力団体数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか								
環境博覧会を継続して開催することにより、「環境先進都市すぎなみ」の創造に向けた、区民・事業者・民間団体・行政相互間の協働意識、共通認識の醸成・推進を図る。								

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標 (1)	人			20000	11587	20000			
	活動指標 (2)	数			50	77	80			
	成果指標 (1)	%			3.85	2.231	3.85			
	成果指標 (2)	数			50.00	77.00	80.00			
総事業費・コスト把握	事業費	千円			10,700	10,636	20,000	特記事項		
	(内)委託費	千円						区人口519,363(13.10.1現在 外国人登録を含む)		
	職員数 (正規   非常勤)	人			1.70	2.50	2.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	15,428	22,688	25,410		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +	千円	0	0	26,128	33,324	45,410			
	単位あたりコスト ÷	円			1	3	2			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	0	0	26,128	33,324	45,410			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	環境先進都市すぎなみ」の創造へむけて、平成13年度から企画して開催した。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	平成13年度は初年度であったが、企画内容規模とも、他の区市で開催されている環境イベントと比較して、大変充実したものである、との評価であった。								
	今後の予測	今後、より区民・民間主導の事業として、展開していく必要がある。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全対策の推進			整理番号	575	枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	54400	連絡先 電話番号	3703	昨年度 整理番号	626	
係名 庶務係				上位施策名				NO		
予算事業名 環境保全の推進				コード		環境施策の総合的推進				16
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			45 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 杉並区環境基本条例				
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			区民一人ひとりの環境問題に対する関心度		(2) 杉並区環境基本計画				
						(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)				
環境施策の報告と問題提起としての環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展。 管理事務。					(1) 環境白書(平成11年度まで環境レポート)の発行部数					
					(2) パネル展開催数、貸出し回数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)					
環境問題への意識啓発及び高揚。					(1)					
					(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 環境問題の解決に向けて、一人ひとりが行動を起こすきっかけとなる。										

区分	単位	11年度 実績	12年度 実績	13年度		14年度 計画	目標値		目標値に対 する13年度 の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標 (1)	部	800	1,000	800	700	700			
	活動指標 (2)	回	4	2	4	3	4			
	成果指標 (1)									
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,598	2,072	1,891	1,571	4,505	特記事項		
	(内)委託費	千円					4,140	14年度においては、環境白書の作成についてコンサルタント委託費を計上		
	職員数 (正規   非常勤)	人	1.50	1.00	1.00	1.00	1.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	9,073	9,075	9,075	9,075		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + + +	千円	16,208	11,145	10,966	10,646	13,580			
	単位あたりコスト ÷	円	20,259	11,145	13,708	15,209	19,400			
	財源	受益者負担分	千円							
		国 都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	16,208	11,145	10,966	10,646	13,580			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は時代の変化とともに大きく変わり、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。 平成13年度には、環境学習講座の実施、子どもエコクラブ事務局の設置を行った。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	環境講座等により幅広い啓発活動や、区民の環境問題学習の場が求められている。 また、平成11年度で中止したホテルの繁殖事業については、復活要望が強い。								
	今後の予測	環境の世紀にふさわしく、区民・事業者・行政に一層の環境配慮行動が求められている。また、自然生態系の復元に対する要望が強まると考えられる。(仮称)環境・リサイクルセンターを活動拠点とした環境ライブラリーの運営、区民との協働による事業が重要性を増してくるものと予測される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境学習の推進				整理番号	576		枝番号	
所属部課名		環境清掃部環境課		コード		連絡先電話番号	3715		昨年度整理番号	
係名 庶務係 (環境都市推進担当)					上位施策名				NO	
予算事業名		環境保全の推進		コード	65900		環境施策の総合的推進			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 13 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区環境基本計画					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民一般				(2)					
					(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 様々な環境問題を解決するには、区民一人ひとりが環境問題を考え、環境配慮行動に取り組む以外ない。 環境学習を通じて、幅広い区民に環境問題について考えるきっかけを与え、意識の向上と環境配慮行動の取り組みにつなげていく。				活動指標名 (式) 募集人数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境問題を自らの問題と捉え、積極的に環境配慮行動に取り組む区民を数多く創出する。				成果指標名 (式) 受講者数						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 多くの区民が積極的に環境配慮行動に取り組むことで、杉並区の環境が保全される。さらに、環境配慮行動を地域に定着することで、調和の取れた環境先進都市杉並が形成される。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		14年度		
指標	活動指標 (1)				30	30	30	30	100.0	
	活動指標 (2)									
	成果指標 (1)				30	30	30	30	100.0	
	成果指標 (2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			640	496	346	特記事項	
	(内)委託費		千円							
	職員数 (正規   非常勤)		人			0.30	0.30	0.30		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	2,723	2,723	2,723	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	0	0	3,363	3,219	2,723		
	単位あたりコスト ÷		円			112,083	107,283	90,750		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 -		千円	0	0	3,363	3,219	2,723			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境問題は年々深刻化し、その解決のためには、区民一人ひとりが現状に対する正しい認識を持ち、日常から環境に配慮する行動を積み重ねていく必要がある。このため、環境学習の必要性が増している。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		気軽に楽しみながら参加できる体験型学習の開催を求める意見がある。							
	今後の予測		環境問題は年々深刻化しており、今後ますます環境学習の果たす役割は大きくなる。誰もが気軽に参加できるよう子どもを対象とした実験教室やエコ工作教室、暮らしに直ちに取り込めるエコクッキング教室など、体験型学習を数多く開催し、区民の環境への関心を高めることが大切である。							

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		エコ・スタッフ制度の創設（環境配慮行動の拡充）				整理番号	577		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	連絡先電話番号		3715		昨年度整理番号		
係名		庶務係（環境都市推進担当）				上位施策名			NO		
予算事業名		環境保全の推進		コード	65900		環境施策の総合的推進				
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		13 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区環境基本条例				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		一般区民、世帯、環境団体、地域団体等		(2) 杉並区環境基本計画				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		環境配慮行動に取り組んでいる区民、団体、事業者をエコ・スタッフ（環境配慮行動員）として登録し、区と協働して環境配慮行動を地域に定着していく。				活動指標名（式）				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		自ら率先して環境配慮行動に取り組むとともに、地域の核となり区と協働し環境配慮行動の取り組みを呼びかける。				成果指標名（式）				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 登録したエコ・スタッフ、地域で区民や団体、商店などに環境配慮行動の取り組みを働きかけることで、環境配慮行動が地域に定着し、自然環境と都市活動の調和の取れた環境先進都市杉並が創造できる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			22 年度		
指標	活動指標（1）				1,000	0	1,000		10,000	0.0	
	活動指標（2）										
	成果指標（1）				1,000	0	1,000		10,000	0.0	
	成果指標（2）										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		954	54	2,958		特記事項		
	（内）委託費		千円								
	職員数（正規   非常勤）		人			0.80	0.80	1.00			
	人件費	職員分（超勤分含む）	千円	0	0	7,260	7,260	9,075			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	8,214	7,314	12,033			
	単位あたりコスト ÷		円			8,214		12,033			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	0	0	8,214	7,314	12,033				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境問題は年々深刻化しており区民一人ひとりの環境配慮行動への取り組みが必要不可欠となっている。								
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待 要望 苦情など）		ごみ減量や自然保護の取り組みをエコ・スタッフ制度の柱に据え、今まで以上に推進するよう要望がある。								
	今後の予測		年々深刻化する環境問題の解決には、区民一人ひとりの環境配慮行動への取り組みが必要不可欠である。エコスタッフを核とした地域での環境配慮行動の輪を広げ、地域社会への定着が必要となる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		低公害車の普及促進				整理番号	578		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号		
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		環境保全の推進		コード	54400		公害の防止				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等				
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 22 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法 (2) 大気汚染防止法 (3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ポスターやリーフレット等の啓発資材を作成し、事業者に配付する。			活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		自動車の購入、買い替えを予定している個人や事業者等に、より低公害な自動車を選択してもらう。早期の買い替えを促進する。			成果指標名(式)					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		大気汚染の改善に貢献する。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		部			10000	3000	10000			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	13.26	19.4						
	成果指標(2)		台	488,054	711,019						
総事業費・コスト把握	事業費		千円			658	435	494		特記事項 低公害車とは、電気自動車、CNG車、ハイブリット車、メタノール車の他、東京都指定の低公害車を含む。普及台数は東京都環境局資料による。	
	(内)委託費		千円			658	435	494			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.15	0.15	0.15			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,361	1,361	1,361			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	2,019	1,796	1,855			
	単位あたりコスト ÷		円			202	599	186			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	2,019	1,796	1,855				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		天然ガス車、ハイブリット車等の台数が徐々に増加しており、また、実用段階の燃料電池自動車の先行販売(リース)が今年中には開始される見込みである。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)										
	今後の予測		都のディーゼル車規制や国の新短期規制、新長期規制によるディーゼル車規制が開始されるに従い、順次低公害車の普及が進むと思われる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境モニタリング調査				整理番号	579		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3713		昨年度整理番号				
係名		環境調整担当係長			上位施策名				NO				
予算事業名		環境保全の推進		コード	54400	公害の防止				19			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 環境基本法						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 下水道法								
	杉並中継所及びその周辺の環境調査		(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並中継所排出ガス、排水等について定期的な環境調査を実施し、結果を公表する。				活動指標名 (式)						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並中継所の安全操業を確認するとともに、周辺環境への影響を低減する。				成果指標名 (式)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		杉並中継所及び周辺環境の状況を調査し、環境影響の低減を図るための基礎資料とする。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績	計画	年度					
指標	活動指標 (1)			2	4	4	4			100.0			
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)			2	4	4	4			100.0			
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,350	23,440	24,150	22,050	特記事項					
	(内)委託費		千円	28,350	23,440	24,150	22,050						
	職員数 (正規   非常勤)		人		0.70	0.70	0.70	0.70					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	6,351	6,353	6,353	6,353				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0	34,701	29,793	30,503						
	単位あたりコスト ÷		円		17,350,550	7,448,125	7,625,625	0					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 -		千円	0	34,701	29,793	30,503	0						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		杉並中継所操業と周辺住民の健康不調との関係が問題となっている中、平成12年4月に東京都から清掃事業の関連施設として区へ移管された。杉並区は施設管理者として、安全操業を確認するための環境モニタリング調査を実施している。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		杉並中継所の排出ガスや排水中の化学物質調査を実施 結果の公表をしていることで、杉並中継所の操業による影響を知ることができる。調査の回数、地点、対象項目などについて具体的な要望があり 調査方法を検討している。										
	今後の予測		今後も、杉並中継所の操業に伴い、一定の環境モニタリング調査を実施する必要がある。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		クリーン大作戦				整理番号	580		枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	39	
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名		環境保全の推進		コード	54400		環境美化の推進				15	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内の公共の場及び公共施設等				(2)							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 10月中の1週間を中心に、区内の団体・事業者・区民が自発的に参加し、区内の公共の場・公共施設等の清掃を行うことを支援する。				活動指標名(式) (1) ごみの総収集量 (2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の公共の場・公共施設等のごみを拾い、落書きをなくし、クリーンな状態にする。				成果指標名(式) (1) (代)事業参加延べ人数 (2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区内の公共の場・公共施設等をクリーンにし、清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例の区民への浸透を図っていくことにより、環境美化の推進に寄与することができる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		t	36	33	17	15					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		人	6,600	10,000	10,105	12,000					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,699	2,500	1,941	1,500		特記事項			
	(内)委託費		千円						各課、各所の超勤分(日曜日分、含む)、清掃車の稼働はコスト計上されていない。			
	職員数(正規 非常勤)		人		0.28	0.15	0.15	0.15				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	2,540	1,361	1,361	1,361			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0	4,239	3,861	3,302	2,861				
	単位あたりコスト ÷		円		118,123	117,008	194,250	190,750				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	4,239	3,861	3,302	2,861					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年6月に区長から出された「世紀の大掃除」の提言以来、区内の団体・事業者の自発的な盛り上がりにより、延べ6,635名の区民が参加した。平成12年度で終了の認識が強かった事業だが、平成13年度以降も継続実施することとなった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		毎年参加者からは、クリーン作戦自体については概ね好感を得ている。ただし、単発のイベントとしてではない継続実施を望む意見も多い。また、執行体制については、区役所が事務局の役割を担うことを望む声がある。									
	今後の予測		環境課が事務局を担い、実施団体等から提案された各企画の調整を行いながら実施することで、まちのクリーン化運動の輪を広げ、環境からのまちづくりのめきかけづくりにすることができる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		空き缶・吸殻投げ捨て防止対策				整理番号	581		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107	連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	628			
係名		防除美化係				上位施策名			NO				
予算事業名		環境保全の推進		コード	54400	環境美化の推進			15				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例(美化条例)								
	在住・在勤(事業者)・在学者及び区への来訪者・通過者		(3)										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)						活動指標名(式)						
	区報やポスターによるPRや駅前清掃、パネル展などを通して、美化条例の普及・啓発を進め、対象者のモラルアップを図ることによりポイ捨て防止につなげていくこと。						(1) 行事等の開催数 (2) 広報やポスター等による啓発						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)						成果指標名(式)							
空き缶・吸殻の投げ捨てをなくし、快適できれいな環境のまちをつくる。						(1) (代)美化条例の周知度 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
美化条例の周知を徹底し、空き缶・吸殻などの投げ捨てを防止することによって、快適環境を実現する。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		回数	5	3	2	2	2					
	活動指標(2)		回数	6	5	4	4	4					
	成果指標(1)		%	45	48	50	50	50					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,337	1,866	2,718	1,885	2,268	特記事項				
	(内)委託費		千円			1,152	1,053	1,152					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.50	1.05	0.75	1.50	0.45	1.50	0.50	1.50	0.50	1.50
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537	6,805	4,084	4,538	4,538				
		非常勤職員分		千円	3,086	4,409	4,449	4,449	4,449				
	総事業費 ++		千円	10,959	13,079	11,251	10,872	11,255					
	単位あたりコスト ÷		円	2,191,890	4,359,750	5,625,375	5,435,750	5,627,250					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	10,959	13,079	11,251	10,872	11,255						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から実施した区内2か所のごみ散乱調査の結果を見ると、空き缶や吸殻の投げ捨て状況に目に見えた改善の様子や変化はない。ただ、クリーン大作戦の盛り上がりなど区民の関心は高まっている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		美化条例の周知の徹底、子供への環境教育、罰則規定による実効性の確保などの意見、ごみ箱・吸殻入れの設置を望む声や、モラルアップのみの取り組みならば条例は不要など、多くの意見が寄せられている。										
	今後の予測		平成12年度に清掃事業が移管されたことに伴い、東西清掃事務所で組織されている清掃協力会や「ふれあい指導班」、都市整備部、区民生活部等と連携を密にして、美化条例の実効性を高めていく必要がある。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境美化推進員			整理番号	582		枝番号				
所属部課名 環境清掃部環境課				コード	230107		連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	629	
係名 防除美化係					上位施策名					NO		
予算事業名 環境保全の推進				コード	54400		環境美化の推進					15
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 10 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例(美化条例)							
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民				(2)							
					(3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) それぞれの地域において、区と協力して環境美化の啓発その他地域の環境美化の推進のための活動を行う。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の環境美化意識を高めていくことにより、地域の快適な環境をつくる。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)		人									
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			61			特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人									
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	0	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	61	0	0				
	単位あたりコスト ÷		円									
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	61	0	0					
受益者負担比率 ÷		%			0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		美化条例では、公募により環境美化推進員を置くことができるとしている。区全域からの公募では、地域によって選任される美化推進員の数が偏ることが考えられること また、選任方法とともに美化推進員の役割や活動内容が確立していないことがある。また、環境配慮行動の定着を目的とする「エコスタッフ」制度との関係もあり 選任を保留している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		美化条例を改正して罰則を規定すること 駅周辺など主要な場所にごみ箱を設置することなどを望む声が寄せられている。									
	今後の予測		平成12年度は清掃事業が区に移管されたことなど、美化条例制定時とは取り巻く環境に変化がある。このため、清掃事業と連携したうえで、清掃協力会や町会、商店会などの協力を得て選任していく必要がある。当初はモデル地区等を選任して、その地域内から選任することにし、順次全域に拡大していくことが望まれる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき地等の管理指導				整理番号	583		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107	連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	630			
係名		防除美化係			上位施策名				NO				
予算事業名		環境保全の推進		コード	54400	環境美化の推進				15			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		土地・建物の所有者及び管理者		(2) 清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例(美化条例)						
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		あき地等の雑草等の除去についての要望・苦情を受け、所有者・管理者に対し適正な管理について指導する。				(3) 杉並区あき地等の管理の適正化に関する指導要綱						
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		あき地等の適正管理に努め、地域の生活環境を適正に保つ。				活動指標名(式)						
						成果指標名(式) (1) 要望・苦情の受付数 (2) 除草機具の貸出数							
						成果指標名(式) (1) 適正管理処置率 = 適正管理数 ÷ あき地数 (2)							
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか あき地等を適正に管理していくことで、区内の環境美化に貢献している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件	64	96	80	92	85					
	活動指標(2)		件	28	9	20	20	15					
	成果指標(1)		%	77	76	82	78	78					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	38	69	115	41	77	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	0	0					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.20	0.75	0.20	0.45	0.20	0.65	0.20	0.50	0.20
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	7,258	6,805	4,084	5,899	4,538				
		非常勤職員分		千円	588	588	593	593	593				
	総事業費 ++		千円	7,884	7,462	4,792	6,533	5,208					
	単位あたりコスト ÷		円	123,191	77,724	59,899	71,010	61,267					
	財源	受益者負担分		千円									
		国都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	7,884	7,462	4,792	6,533	5,208						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		美化条例の施行で、あき地の適正管理に加えて、対象が土地・建物全般に広がるなど事業の範囲が拡大している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		私有地へのごみの不法投棄や放置などについて対処を望む要望がある。区では対応困難なケースも多々ある。										
	今後の予測		近年、都市化・宅地開発が進んだことなどから近隣の関係が希薄となってきたこと、地域の美化意識が高まっていること、雑草の種子などに敏感に反応を示す人などいることから、今後も対応件数は増えていくと予測できる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境審議会運営				整理番号	584		枝番号						
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	3703		昨年度整理番号	631				
係名		庶務係				上位施策名			NO						
予算事業名		環境審議会運営		コード	54500		環境施策の総合的推進			16					
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		9年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 環境基本法第44条								
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民 区議会議員 学識経験者から計15名以内		(2) 杉並区環境基本条例								
							(3) 杉並区環境審議会設置要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の付属機関として、区の環境の保全に関して必要な事項を調査審議する。				活動指標名(式)								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区の環境行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。				成果指標名(式)								
						(1) 委員の出席率									
						(2) 審議案件数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
より区民の意向を反映した環境施策を推進することができる。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
							計画		実績		年度				
指標	活動指標(1)		回数	5		6		6		6					
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	72		88		100		88		100			
	成果指標(2)		件	20		38		20		49		40			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,610		1,050		1,318		1,135		1,847		特記事項 杉並区環境基本計画の改定について、環境審議会に部会を設置し検討することとした。予算上7人の委員で3回分を計上。審議会開催数は従前どおり6回とした。また、議事録作成については委託することとした。	
	(内)委託費		千円									417			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90		1.20		0.90		0.90		0.90			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	8,166		10,888		8,168		8,168		8,168		
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0		
	総事業費 ++		千円	9,776		11,938		9,486		9,303		10,015			
	単位あたりコスト ÷		円	1,955,140		1,989,600		1,580,917		1,550,417		1,669,083			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	9,776		11,938		9,486		9,303		10,015				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境の世紀といわれる21世紀を迎え、区民の環境問題に関する関心は高まりを見せている。快適環境の維持や利便性の追及の代償として失った自然環境の回復、地球環境への負荷の軽減、ごみ問題に代表される地域の美化などが求められ、地球規模で考え足元から行動する「発想が市民権を得てきている。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		環境に関する区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多い。また、資源の再利用や地球温暖化防止に関し、区に先導的役割を期待した意見等がある。												
	今後の予測		環境問題に関する区民の関心はますます高まり、環境審議会の役割も重要度を増すものと考えられる。特に、地球温暖化対策など、地球環境の保全に関する施策を実施するにあたり、区民の協力を得なければ実施できないものや、利害関係の調整等を伴うものも予想される。これらを解決するに際し、環境審議会の意見は区政にとってさらに大きな意味を持つこととなる。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ISO14001の推進				整理番号	585		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230106	連絡先電話番号	3705		昨年度整理番号	627			
係名 計画係				上位施策名				NO					
予算事業名		ISO14001の推進		コード	54700		環境配慮行動の推進		18				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1)								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区(教育機関を除く。)、区職員				(2)								
					(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ISO14001の認証を区が取得(その後、定期審査又は更新審査を受審)し、率先して環境配慮行動に取り組む。				活動指標名(式) (1) 認証取得、定期審査又は更新審査 (2) 環境目的 環境目標の達成(各年度該当項目)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区がISO14001の認証を取得し、率先して環境配慮行動に取り組むことにより、杉並区の地域として環境先進都市に向けた第一歩を踏み出すことができる。				成果指標名(式) (1) 主な省エネルギー 省資源の実績によるCO <sub>2</sub> 排出量 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 国際規格の認証を取得し、区が率先して環境配慮行動に取り組むことにより、区民・事業者の環境配慮行動を促進することができる。													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%				
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		回		1	1	1						
	活動指標(2)		件			60	48	62					
	成果指標(1)		kg	12743020	12557250	12524208	12350301	12305396					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円		5,022	7,644	6,925	2,264	特記事項				
	(内)委託費		千円		516	5,582	5,438	1,368	ISO14001環境マネジメントシステムが規定する個々の環境目的 環境目標の達成状況については、ISO報告書として取りまとめ広く公表する。				
	職員数(正規 非常勤)		人		2.27	2.87	2.87	1.70					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	20,596	26,045	26,045			15,428		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	0	25,618	33,689	32,970	17,692					
	単位あたりコスト ÷		円			33,689,250	32,970,250	17,691,500					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	25,618	33,689	32,970	17,692						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年4月1日、区長による環境方針を策定し、同年6月1日から環境マネジメントシステムの運用を開始した。外部審査機関による審査を経て、同年10月12日にISO14001の認証を取得し、継続的改善に取り組んでいる。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		地球環境問題に対する関心の高まりもあり、行政の率先行動という点において、区自らの環境配慮行動への取り組みに対する区民の期待は大きい。										
	今後の予測		ISO14001環境マネジメントシステムの主目的である継続的改善に取り組み、14年度以降、「ISO報告書」を作成し、運用実績を広く区民等に公表する。区の取り組みを背景に、区内事業者によるISO取得など、区民・事業者の自主的な環境配慮行動の推進につなげていく。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ねずみ・昆虫駆除				整理番号	590		枝番号						
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	641				
係名				防除美化係				上位施策名			NO				
予算事業名				各種防除・指導				コード			55000				
								健康を支える仕組みづくり			40				
事務事業の概要	事業開始年度				● 昭和 ○ 平成		40 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区害虫等防除指導要綱								
	区民						(3) 杉並区地域防災計画								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)										
	相談を受けて区民等に対して駆除等の助言・指導を行う。また、区民等が自主的に防除できない公共領域の防除及び水害時の消毒作業を直営又は委託で実施する。				(1) 相談件数 (2)										
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)											
衛生的な環境を維持して、快適に暮らすことのできるまちをつくる。				(1) (2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
区民の健康の保持・増進に貢献している。															
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
							計画		実績		年度				
指標	活動指標 (1)		件	1615		1376		1,300		1,587		1,500			
	活動指標 (2)														
	成果指標 (1)		%	76		73		80		74		80			
	成果指標 (2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	13,690		4,586		6,716		4,138		7,841		特記事項	
	(内)委託費		千円					10,722		529		2,864			
	職員数 (正規   非常勤)		人	2.01	1.05	2.00	1.50	1.60	1.50	2.20	1.50	1.60	1.50		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	18,237		18,146		14,520		19,965		14,520		
		非常勤職員分		千円	3,086		4,409		4,449		4,449		4,449		
	総事業費 + +		千円	35,013		27,141		25,685		28,552		26,810			
	単位あたりコスト ÷		円	21,680		19,724		19,758		17,991		17,873			
	財源	受益者負担分		千円											
		国 都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	35,013		27,141		25,685		28,552		26,810				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		カ・ハ工等の駆除用に殺虫剤を配布していたが、使用・保管方法によっては薬害に及ぶ恐れがあること、薬剤に対する区民の関心が高まっていること、薬剤を悪用した事件があること等から、平成12年度当初から廃止することとした。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		生活環境が改善されたことに伴い、カ・ハ工の苦情は減少して、ねずみの相談や駆除の要望が多くなってきている。また、カラスの苦情も繁殖期間を中心に多く、かつ、増加している。殺虫剤配布を廃止したことについては、ほとんど問い合わせもなく理解が得られていると考える。												
	今後の予測		カラスの生息数の増加に伴い、苦情・要望が増加することが見込まれる。												

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		病虫害防除				整理番号	591		枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107	連絡先電話番号	3707		昨年度整理番号	642		
係名		防除美化係				上位施策名			NO			
予算事業名		各種防除・指導		コード	55000	健康を支える仕組みづくり			40			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		53 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区害虫等防除指導要綱							
	区民・区施設		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	樹木に発生する病虫害の駆除相談を受け、適正な指導をする。区有施設については委託を基本に防除を実施する。また、区民に対し防除機具を貸し出す。		(1) 延べ防除施設数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
樹木害虫を駆除し、快適な環境を整える。		(1) 防除実施率 = 延べ防除施設数 ÷ 計画施設数										
		(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区民の健康の保持・増進に貢献している。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	206	110	153	64	70					
	活動指標(2)	枚	66	57	80	43	50					
	成果指標(1)		88	72	80	75	80					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,120	1,320	2,928	548	2,416	特記事項				
	(内)委託費	千円			2,678	348	1,733					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.51	0.20	0.50	0.20	0.50	0.20	0.65	0.20	0.40	0.20
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,627	4,537	4,538	5,899	3,630				
		非常勤職員分	千円	588	588	593	593	593				
	総事業費 ++	千円	9,335	6,444	8,059	7,040	6,639					
	単位あたりコスト ÷	円	45,316	58,585	52,671	109,999	94,846					
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	9,335	6,444	8,059	7,040	6,639					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区立施設の防除では、現場調査を実施し、薬剤の必要性をよく見極めたうえで実施している。区民に対する殺虫剤の無料配布を、昆虫駆除用薬剤と同様に、平成12年度から廃止した。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	殺虫剤の廃止については、区民からの苦情もなく、時折問い合わせがある程度で広く周知されてきたと考えられる。										
	今後の予測	環境に配慮して、必要最小限の薬剤散布に限定していく。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公害監視、調査、指導				整理番号	618		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	665	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害防止		コード	55800		公害の防止				19
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 騒音規制法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		工場等の事業者や建物等の解体を行う業者		(2) 振動規制法				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		騒音規制法・振動規制法による特定建設作業実施届等の受理、燃料調査等の規制、指導を行う。				(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		事業所等の事業活動に伴う公害を未然に防止するとともに、公害が発生した場合にはこれを最小限に抑える。				活動指標名(式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		上位施策に直接に貢献している。				成果指標名(式)				
						(1) 調査、指導、届出受理件数					
						(2)					
						(1) 調査、指導、届出件数 - 違反、苦情件数) ÷ (調査、指導、届出件数) × 100 (%)					
						(2)					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	件	401	363	500	354	500				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	98.8	98.9	99	90.4	99				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円	4,708	13,149	16,316	15,588	17,388	特記事項			
	(内)委託費	千円		11,419	16,095	15,372	17,168				
	職員数(正規 非常勤)	人	1.40	1.40	1.40	1.40	1.40				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,702	12,702	12,705	12,705	12,705			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	17,410	25,851	29,021	28,293	30,093				
	単位あたりコスト ÷	円	43,417	71,215	58,042	79,924	60,186				
	財源	受益者負担分	千円								
		国都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	17,410	25,851	29,021	28,293	30,093				
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業所は微減、建築・解体工事は微増の傾向である。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	環境・公害防止に対する区民の意識は高い。									
	今後の予測	近隣騒音などの都市型公害の割合が増えていくことが予測される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苦情処理、相談				整理番号	619		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	666	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害防止		コード	55800	公害の防止				19	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 騒音規制法				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		事業者や近隣から騒音、悪臭等の公害を受けている区民等		(2) 振動規制法				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		苦情者等から苦情や相談を受け、事業者等の公害発生源に対して指導を行いもしくは協力を求める。				(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民等が受けている公害をできるだけ軽減し、区民を公害から守る。				活動指標名 (式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公害防止に直接貢献している。				成果指標名 (式)				
						(1) 巡回・立ち入り指導件数					
						(2) 苦情相談件数					
						(1) 苦情相談完結率 (%) = (苦情相談完結件数) ÷ (苦情相談件数) × 100					
						(2)					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	件	705	826	900	1086	900				
	活動指標 (2)	件	35	43	50	215	250				
	成果指標 (1)	%	80	100	90	74.4	90				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	307	2,309	1,142	1,131	112	特記事項		
	(内)委託費		千円						13年度の苦情件数の増は、前年度までは、特に困難な苦情又は日数のかかった苦情のみを計数していたため、13年度は苦情として相談を受けたものはすべて計数した。		
	職員数 (正規   非常勤)		人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,219	27,219	27,225	27,225	27,225			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	27,526	29,528	28,367	28,356	27,337			
	単位あたりコスト ÷		円	39,044	35,748	31,519	26,110	30,374			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	27,526	29,528	28,367	28,356	27,337				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業所等が次第に減少 (昭和57年度 2371 平成13年度 1923事業所)し、事業所にかかる苦情は減少してきている。代わりに、建築解体に伴う騒音・振動や日常生活にかかる騒音・悪臭等の苦情が増加している。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		迅速な対応に努めており「早く来てくれてありがたい」とい評価がある一方、解決の困難な事案があって、「対応が遅い」とい評価の時もある。								
	今後の予測		隣土士のコミュニケーションの欠如等から、近隣でのトラブルが増加、複雑化している。今後もこの傾向が増えることが予測される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公害防止意識の啓発				整理番号	620		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	667	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害防止		コード	55800		公害の防止			19	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 環境基本法				
			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 環境基本条例				
	区民、事業者						(3) 杉並区ダイオキシン類の発生抑制に関する条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						活動指標名 (式)				
	区民、事業者向けに、公害防止意識を啓発するためのパンフレットや小冊子を作成し配付する。また、広報紙によるほか、苦情・相談者や来庁者への情報提供や説明を行うことにより意識啓発を行う。						(1) 発行部数				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)						成果指標名 (式)					
区民や事業者等に公害防止意識を高めてもらう。						(1) 苦情 相談完結率					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民・事業者への意識啓発によって、公害防止に貢献している。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標 (1)	部	5000	2500	2500	1700	2000				
	活動指標 (2)	件	35	43	50	215	250				
	成果指標 (1)	%	80	100	92	74.4	80				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,000	995	1,000	908	1,000	特記事項		
	(内)委託費		千円	1,000	995	1,000	908	1,000	啓発資材のページ数により単位あたりのコストは増減する。		
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.40	0.55	0.55	0.55	0.55			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	4,990	4,991	4,991	4,991			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	4,629	5,985	5,991	5,899	5,991			
	単位あたりコスト ÷		円	926	2,394	2,397	3,470	2,996			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	4,629	5,985	5,991	5,899	5,991				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境に対する区民意識が高くなっており、快適な生活環境を求める人が多くなってきている。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		区が「どの程度、どういった規制や指導ができるのか」また、騒音等の環境基準がどうなっているのか知りたい」といった情報提供や説明を求められるケースが多い。								
	今後の予測		既存の公害が継続するとともに、区としてこれまで対応したことのなかった新しいタイプの公害問題が発生することが予想される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車排出ガス測定				整理番号	621		枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	669		
係名		公害対策係		上位施策名			NO					
予算事業名		公害実態調査		コード	560000	公害の防止			19			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 大気汚染防止法					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減に関する特別措置法							
	沿道地域の大气汚染状況		(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内20地点において、1地点につき約4週間、1時間ごとに窒素酸化物を測定する。		活動指標名 (式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		主に区内幹線道路沿道地域の大气汚染状況を把握し、その結果を区民に提供するとともに、自動車公害防止の基礎資料とする。		成果指標名 (式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公害防止施策のための基礎資料となっている。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
指標	活動指標 (1)		地点	20	20	20	20	20				
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		ppm	0.038	0.043	0.037	0.039	0.038				
	成果指標 (2)		ppm	0.028	0.027	0.027	0.031	0.027				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	5,942	5,989	5,717	5,698	4,238	特記事項			
	(内)委託費		千円	5,482	5,482	5,482	5,482	4,033				
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.45	0.50	0.45	0.45	0.45				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,083	4,537	4,084	4,084	4,084			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	10,025	10,526	9,801	9,782	8,322				
	単位あたりコスト ÷		円	501,243	526,275	490,038	489,088	416,088				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	10,025	10,526	9,801	9,782	8,322					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内を走行する貨物車やバスの台数増加に伴い、浮遊粒子状物質などの大気汚染は沿道だけでなく、沿道以外の地域にも及んでいる。 (例 = 青梅街道梅里で平成7年度16,694台 平成11年度19,624台)									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		自動車の排気ガスがひどく、測定してほしいなどの声が寄せられている。									
	今後の予測		都内の大気汚染は特に幹線道路沿いで著しく、都のディーゼル車対策等の自動車公害対策が早急、かつ、着実に実施されないと改善が進まない。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通量調査				整理番号	622		枝番号	
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	
係名		公害対策係			上位施策名				NO	
予算事業名		公害実態調査		コード	560000	公害の防止				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 大気汚染防止法					
	区内主要交差点における自動車交通量		(2) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例							
			(3)							
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内主要交差点5地点で、24時間、自動車交通量を調査する。			活動指標名(式)					
							(1) 調査地点数			
							(2)			
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内主要交差点5地点で自動車交通量を把握することにより、交通量の経年変化を知る。			成果指標名(式)					
							(1) 環八(井荻)交通量			
							(2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 大気汚染や自動車騒音等の公害に関する基礎資料とする。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		地点	5	0	5	5	0		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		台	61,898		60,000	58,053			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,048		2,058	1,869	特記事項		
	(内)委託費		千円	2,048		2,058	1,869			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20		0.15	0.15			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	0	1,361	1,361	0	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	
	総事業費 ++		千円	3,863	0	3,419	3,230	0		
	単位あたりコスト ÷		円	772,520		683,850	646,050			
	財源	受益者負担分		千円						
		国都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	3,863	0	3,419	3,230	0			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成9年に井荻トンネルが開通してからは、この地区の環状8号線の交通量は、以前の約2倍になった。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)									
	今後の予測		都が計画しているロードプライシングなどが実施されると、交通量、交通流等が変化する可能性がある。							

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通騒音振動測定				整理番号	623		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	670	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害実態調査		コード	560000	公害の防止				19	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 騒音規制法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 振動規制法						
	主に幹線道路沿いの自動車騒音・振動		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		幹線道路沿道約23地点に各1週間、測定機器を設置し、自動車の騒音・振動を測定する。騒音規制法に基づく要請限度を超える地点については、被害状況等を考慮し、道路管理者等に要請等を行う。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		沿道地域の騒音、振動を測定し、自動車公害の防止に役立てる。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公害防止施策の基礎資料になっている。				(1) 夜間の環境基準達成率					
						(2) 夜間において要請限度を超えない地点の割合					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	地点	23	23	23	23	23				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	4.3	8.7	10	4.3	10				
	成果指標(2)	%	30.4	39.1	40	39.10	40.00				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,203	368	242	211	1,357	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.95	1.00	1.05	1.05	1.05			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,619	9,073	9,529	9,529	9,529			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	9,822	9,441	9,771	9,740	10,886			
	単位あたりコスト ÷		円	427,059	410,478	424,815	423,467	473,293			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	9,822	9,441	9,771	9,740	10,886				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年4月1日、環境基準が改正され、また、騒音の評価方法も中央値から等価騒音レベルに変更された。また、第二次東京都分権推進計画に基づく都区の役割分担の見直しで、平成15年4月1日に、道路騒音の常時監視等の事務移管が行われる予定である。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「自動車騒音がひどいので改善してほしい」、前の道路で騒音・振動を測定してほしい」といった区民要望が寄せられている。								
	今後の予測		低騒音舗装等の対策がとられているが、自動車交通騒音の劇的な減少は今のところむずかしく、騒音測定を今後も実施していく必要がある。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		鉄道騒音振動測定				整理番号	624		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	671			
係名		公害対策係			上位施策名				NO				
予算事業名		公害実態調査		コード	560000		公害の防止				19		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 騒音防止法						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		鉄道沿線の騒音・振動の状況		(2) 振動規正法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内鉄道沿線8地点で騒音・振動を測定している。数値の高い地点の鉄道会社には、車両の軽量化等の改善要望を行う。				(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例						
	活動指標名 (式)						(1) 調査地点数						
	成果指標名 (式)						(2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		鉄道の騒音・振動による公害を軽減する。				成果指標名 (式)							
						(1) (苦情発生件数 ÷ 調査地点数) × 100							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
鉄道事業者に対し、騒音・振動の軽減対策を講ずるよう要請することによって、公害防止に寄与している。 区からの要請のみによるわけではないが、軌道のロングレール化や運行方法の改善が、一定程度進められてきている。													
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績			年度		
指標	活動指標 (1)		地点	8		8		8	8	8			
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)		%	0		0		0	12.5	0			
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	22		0		24	24	24		特記事項	
	(内)委託費		千円									平成12年4月1日の組織改正により職員数の算定を見直した。事業費は、測定機器の記録用紙の購入費のみである。	
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.30		0.25		0.25		0.20			0.20
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722		2,268		2,269	1,815	1,815		
		非常勤職員分		千円	0		0		0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,744		2,268		2,293	1,839	1,839			
	単位あたりコスト ÷		円	342,988		283,531		286,594	229,875	229,875			
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0		0		0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	2,744		2,268		2,293	1,839	1,839				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		鉄道沿線の宅地化が進んだ。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		平成13年度は鉄道騒音 振動にかかる苦情は、きわめて少なかった。										
	今後の予測		線路の複々線化やダイヤの過密化、宅地化の進展により 新たな個所で苦情が発生することが予測される。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大気汚染常時測定				整理番号	625		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	672	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害実態調査		コード	560000		公害の防止				19
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 大気汚染防止法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例						
	区内大気汚染の状況						(3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内5地点において、年間を通じ窒素酸化物や浮遊粒子状物質等を1時間ごとに測定する。				活動指標名(式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区内大気汚染状況を把握し、区民に提供するとともに、大気汚染防止の基礎資料とする。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公害防止施策のための基礎資料となっている。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		地点	4	5	5	5	4			
	活動指標(2)		回数	3	3	3	3	3			
	成果指標(1)		%	50	60	60	60	60			
	成果指標(2)		%	0	0	33.3	33.3	33.3			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,192	7,193	8,303	7,970	17,048	特記事項		
	(内)委託費		千円	5,388	5,388	5,388	5,388	7,788	14年度の委託費の増加は、清掃事業所管理分を所管替えしたことによる。		
	職員数(正規 非常勤)		人	1.10	1.35	1.35	1.35	1.35			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,980	12,249	12,251	12,251	12,251		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	18,172	19,442	20,554	20,221	29,299			
	単位あたりコスト ÷		円	4,543,075	3,888,310	4,110,850	4,044,250	7,324,813			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	18,172	19,442	20,554	20,221	29,299				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内を走行する自動車のうち、ディーゼル車(貨物車、バス、乗用車)の台数が増加した。(交通量は、青梅街道梅里を例にとると、平成7年度の16,694台から平成11年度は19,624台に増加している。)								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「空気が悪い」、「自分の住んでいる地域の大气汚染の状況を知りたい」、「大気測定局を増設してほしい」等の意見、要望が寄せられている。								
	今後の予測		第二次東京都地方分権推進計画に基づく都区の役割分担の見直しで、今後は常時監視(測定)を区で実施していく方向性が示されている。大気汚染防止法上の政令市となった場合は調査、測定体制の強化が必要となる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河川水質測定				整理番号	626		枝番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	673	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害実態調査		コード	560000	公害の防止				19	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 水質汚濁防止法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		河川水質及びその周辺環境		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内3河川、計5地点で、年4回水質調査を行う。 区内の池4ヶ所で年2回水質調査を行う。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		河川水質を把握し、区民にその状況を提供するとともに、水質及びその周辺環境の保全のための資料とする。				成果指標名(式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				公害防止施策のための基礎資料となっている。					
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		検体数	36	36	28	28	28			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		達成率	100	100	100	100	100			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	30	30	30	30	30	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.55	0.55	0.55	0.55	0.55			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,990	4,990	4,991	4,991		4,991	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 ++		千円	5,020	5,020	5,021	5,021	5,021			
	単位あたりコスト ÷		円	139,449	139,449	179,330	179,330	179,330			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	5,020	5,020	5,021	5,021	5,021				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		下水道普及率の向上により、河川水質は改善されてきている。ただし、大量の降雨により、下水が河川にあふれ出て、水質や景観の悪化をきたすことがある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		河川に汚物が流れ込んで臭う、見た目が悪い等の苦情がある。								
	今後の予測		第二次東京都分権推進計画に基づく都区の役割分担の見直しで、河川水質の常時監視が区の事務となることが検討されている。その場合には、事務体制、調査体制の強化が必要となる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		光化学スモッグ対策				整理番号	627		枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	674		
係名		公害対策係			上位施策名				NO			
予算事業名		公害実態調査		コード	560000		公害の防止					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 大気汚染防止法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区光化学スモッグ緊急時連絡体制に関する要綱							
	主に区民全体の生命、健康		(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)									
	光化学スモッグ注意報等が発令された場合に、防災行政無線及び垂れ幕等により区民等に発令情報を周知する。また、光化学スモッグに対する諸注意等について、広報紙により啓発する。		(1) 発令連絡日数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)										
光化学スモッグ注意報等の発令を速やかに伝え、光化学スモッグの被害から区民を守る。		(1) (発令日に被害者の発生しなかった日数 ÷ 発令日数) × 100 (%)										
		(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
公害による被害者を未然に防止することに寄与している。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標(1)		日数	1	13	6	13	10				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,190	265	314	256	893		特記事項		
	(内)委託費		千円	252	252	252	252	252		光化学スモッグ注意報の発令日数は気象条件に大きく左右され、年度によって変動がある。11年度の事業費には、都区間の同報無線機の撤去費用を含む。		
	職員数(正規   非常勤)		人	1.05	1.00	1.00	1.00	0.95				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	9,527	9,073	9,075	9,075	8,621			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	11,717	9,338	9,389	9,331	9,514				
	単位あたりコスト ÷		円	11,716,650	718,308	1,564,833	717,769	951,425				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	11,717	9,338	9,389	9,331	9,514					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		気象条件に大きく影響を受けるが、注意報等の発令回数や被害者数は開始当初に比べ減少している。しかしながら、平成12年度、13年度の発令回数はここ数年では13回と多かった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		「防災行政無線屋外放送塔からの音声が聞きにくい」、霧笛がうるさい、どこにかならないか、他の音に変えられないか、注意報の解除時に放送がない」という声もある。									
	今後の予測		大気環境に大きな改善がなければ、今後も年に数回程度は光化学スモッグ注意報が発令されると思われる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		冬期自動車交通量対策				整理番号	628		枝番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	3708		昨年度整理番号	675			
係名		公害対策係			上位施策名				NO				
予算事業名		公害実態調査		コード	560000	公害の防止				19			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		6 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 大気汚染防止法						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法								
	自動車を使用する事業者、区民および交通量		(3) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		都と共同して、冬期における自動車の交通量を抑制するよう事業者に要請する。同時に、区民にも協力を呼びかける。				活動指標名(式)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		冬期において自動車の使用抑制を呼びかけ、交通量を削減することにより、窒素酸化物の低減を図る。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		自動車の使用を抑制することにより、公害の抑制・防止に寄与している。											
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
							計画	実績	計画	年度			
指標	活動指標(1)		件数	734	719	800	866	800					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	30	40	30		30					
	成果指標(2)		%	3									
総事業費・コスト把握	事業費		千円	96	169	196	164	132	特記事項				
	(内)委託費		千円							事業費は、郵送費である。			
	職員数(正規 非常勤)		人	0.30		0.25		0.25		0.20		0.20	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	2,722	2,268	2,269	1,815	1,815				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	2,818	2,437	2,465	1,979	1,947					
	単位あたりコスト ÷		円	3,839	3,390	3,081	2,285	2,434					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	2,818	2,437	2,465	1,979	1,947						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内を走行する自動車のうちディーゼル車(貨物車、バス、ディーゼル乗用車)の台数が増加した。(交通量は、青梅街道梅里を例にとると、平成7年度16,694台 平成11年度19,624台と増加している。)										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		「アイドリングストップを徹底してほしい」という声が寄せられている。										
	今後の予測		都が予定しているロードプライシングが実施されると、実施地域では年間の自動車の使用抑制が図られる可能性がある。一方、その周辺地域では、交通量の増大や生活道路への車両の流入が予測される。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自然保護の啓発			整理番号	629		枝番号			
所属部課名		環境清掃部環境課	コード	230101	連絡先電話番号	3715	昨年度整理番号	676			
係名				庶務係 (環境先進都市担当)				上位施策名		NO	
予算事業名				自然環境保全		コード	671000		環境施策の総合的推進		
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 自然環境保全法		
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 環境基本法				
	会報等の発行：生き物アンケート調査協力者 自然観察会：希望する区民				(3) 東京における自然の保護と回復に関する条例						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)						
会報等の発行；杉並生き物アンケート調査協力者に対し、定期的に会報を送付する。 自然観察会；希望者を募集し、昆虫や植物、鳥類などの観察会を実施する。				(1) 会報等の発行 発行回数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				(2) 自然観察会 実施回数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)							
会報等の発行；自然保護の意識を育むとともに、5年毎に実施する(2年間)杉並の生き物アンケート調査に関わる情報を提供し、杉並の自然環境の変化について認識を深める。 自然観察会；生態系全体を学ぶことにより、自然の大切さ、環境保護の意識を育む。				(1) アンケートの回収率							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				(2) 自然観察会の参加者数							
自然を大切にすることを意識を持った区民の増加が、暮らしと環境が調和する環境先進都市杉並の創造に寄与していく。											

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		14年度	14年度		
指標	活動指標(1)	回	3	5	5	5				
	活動指標(2)	回	3	3	3	3	3	3	100.0	
	成果指標(1)	%		11	13	9				
	成果指標(2)	人	137	135	150	114	150	150	76.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	923	673	956	695	668	特記事項		
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.20			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	7,260	7,260	1,815		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	8,181	7,931	8,216	7,955	2,483			
	単位あたりコスト ÷	円	2,727,133	1,586,280	1,643,200	1,591,000				
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引：一般財源 -		千円	8,181	7,931	8,216	7,955	2,483			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	会報等の発行 杉並の生き物アンケート調査協力員の人数は、現在528名である。 自然観察会 気軽に自然に親しむ会として、概ね好評である。特に、夏休み期間中に実施する昆虫観察会は、定員を大幅に超える申込みがある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)	会報等の発行 担当部署にある程度専門的な相談ができる職員(理科の先生など)を配置してほしいという要望がある。 自然観察会 すぐに定員を超えてしまうため、定員や回数を増やしてほしいという要望が寄せられている。
	今後の予測	気軽に自然に親しめる自然保護の啓発事業については、開催要望は今後も増加していくと思われる。今後は、教育関係施設など趣旨の事業を行っている機関との連携により、効果的な運用や人材の活用といったことが課題となる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクルの啓発				整理番号	586		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3065		昨年度整理番号	632		
係名		ごみ減量担当			上位施策名				NO			
予算事業名		リサイクルの推進		コード	68500		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				17	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		3 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 循環型社会形成推進基本法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 再生資源の利用の促進に関する法律							
	区民全般		(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		主に印刷物「リサイクル報」を隔月に発行し、町会回覧・区内施設での配布をとおり、区のリサイクル事業の周知を図っている。				活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		リサイクル事業の周知と共に、リサイクル意識の高揚を図る。				成果指標名 (式)					
						(1) リサイクル率						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区のリサイクルや清掃に関する方針、情報を掲載することにより、施策への理解・協力が得られている。												
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%
							計画	実績			年度	
指標	活動指標 (1)		部	144000	115000	144000	138000	138000				
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		%	16.2	18.7		18.45					
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,237	1,965	2,803	1,889	2,012	特記事項			
	(内)委託費		千円							平成13年度において、リサイクル率の算出方法を23区統一算出したため、平成12年度と平成13年度に差が生じた。		
	職員数 (正規   非常勤)		人	0.20	0.22	0.20	0.22	0.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	1,996	1,815	1,997	1,815				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	5,052	3,961	4,618	3,886	3,827				
	単位あたりコスト ÷		円	35	34	32	28	28				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	5,052	3,961	4,618	3,886	3,827					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		リサイクル報については、区民に定期刊行物として定着しているなか、発行部数を見直した。また、啓発用パネルについては、一括して清掃管理課で作成・管理することとなった。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		リサイクル報については、町会によって印刷物が十分に回覧されないことがあり 区報なみに各戸配布してほしいとの要望がある。									
	今後の予測		清掃事業が区に移管されたことにより 区独自のリサイクル 清掃事業が期待されている。区が新規で事業を起こす際に詳細を説明する場としてリサイクル報紙面の充実が望まれる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		コンポスト容器及び家庭用生ごみ処理機購入費助成				整理番号	587		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3063		昨年度整理番号	634	
係名		リサイクル推進係				上位施策名			NO			
予算事業名		リサイクルの推進		コード	56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区コンポスト容器購入費助成要綱							
	区があっせんするコンポスト容器購入者及び家庭用生ごみ処理機購入者		(3) 杉並区家庭用生ごみ処理機購入費助成要綱									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		コンポスト容器購入者に対し、購入価格の半額を助成金として交付する。また、家庭用生ごみ処理機購入者に対し、購入価格の半額、上限2万円を助成金として交付する。					活動指標名(式)		(1) コンポスト容器購入費助成件数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		ごみの減量やリサイクルへの意識を高める。					成果指標名(式)		(1) 0.7 kg×365日×コンポスト容器助成累積台数(年間の生ごみ減量)			
									(2) 0.7 kg×365日×家庭用生ごみ処理機助成累積台数(年間の生ごみ減量)			
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					区民の意識を高めることにより、区は区民と一体となってごみの減量化や発生抑制、リサイクルの推進を進めることができる。					
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件	152	71	200	126	200					
	活動指標(2)	件	60	61	100	100	100					
	成果指標(1)	kg	446,103	464,244	515,344	496,437	547,537					
	成果指標(2)	kg	44,457	60,043	85,593	85,593	111,143					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,682	1,437	2,732	2,371	2,683	特記事項				
	(内)委託費	千円										
	職員数(正規 非常勤)	人	0.25	0.11	0.15	0.32	0.20					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,268	998	1,361	2,904	1,815				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	3,950	2,435	4,093	5,275	4,498					
	単位あたりコスト ÷	円	25,988	34,296	20,466	41,865	22,490					
	財源	受益者負担分	千円									
		国都等からの支出金	千円									
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	3,950	2,435	4,093	5,275	4,498					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	コンポスト容器購入費助成:事業を開始した平成4年度の助成件数は563件であったが、平成13年度の助成件数は126件であり、助成希望者は減少傾向にある。 家庭用生ごみ処理機購入費助成:事業を開始した平成9年度の応募件数は197件であったが、平成13年度は274件であり、助成希望者は増加している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)	コンポスト容器:あっせんするコンポスト容の展示場所が本庁のみのため、他の施設にも展示してほしいとの要望がある。 家庭用生ごみ処理機:助成件数、助成額を増やしてほしいとの要望がある。										
	今後の予測	コンポスト容器購入費助成件数は減少傾向にあり、今後も助成希望者は漸減することが予想される。一方、家庭用生ごみ処理機は様々な機種が販売されており、性能も向上している。今後も家庭用生ごみ処理機の需要は伸びるものと思われる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクル協会運営事業			整理番号	588	枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214	連絡先電話番号	3063	昨年度整理番号	637
係名				リサイクル推進係		上位施策名		NO	
予算事業名				リサイクルの推進		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17	
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 6 年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業
事業終期				○ 無 ○ 有 平成 年度		(1) 杉並リサイクル協会補助金交付要綱			
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)			
杉並リサイクル協会						(3)			
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)				
	リサイクル協会の支出経費62,375,452円の内、46,779,184円(75.00%)を補助金として支出した。				(1) 講座 講習会の延べ参加者数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				(2) リサイクルひろば家具販売点数+不用品情報コーナー成立件数				
	行政と住民、事業者が単独では充分に取り組みにくい事業等において協働をはかり、協議の場を設け、リサイクル事業の全般的な発展を目指す。				(3) 数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				成果指標名 (式)					
リサイクル意識の高揚を図り、啓発事業を行うことにより、ごみの発生を抑制し、資源の有効活用に寄与している。				(1) 集団回収収集量					
				(2) 家具・不用品取扱い重量 ÷ (家具・不用品取扱い重量+粗大ごみ取扱い重量)					

区分	単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	744	1455	1340	2,309	1,700					
	活動指標(2)	件	50,590	36,447	1,680	2,398	2,370					
	成果指標(1)	kg	-----	3,267,376	4,500,000	4,216,375	4,800,000					
	成果指標(2)	%	3.16	3.16	3.16	4.70	4.09					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,182	49,279	52,076	46,780	57,822	特記事項				
	(内)委託費	千円						事業費は補助金				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.00	0.55	0.00	0.60	0.65	0.60	不用品取扱い品重量		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,990	5,445	5,899	5,445	@80kg 家具類重量@80kg			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	活動指標(2)13年度から件数が激減しているのはリサイクルショップ杉並閉鎖による委託品取扱い件数の減による。集団回収収集量の12年度数値は9か月分。区の統計は年度であるが、協会の統計は補助金清算の期日の関係で暦年を採用しているため数値は一致しない。成果指標(2)については14年度より小数点以下2桁表示とした。			
	総事業費 ++	千円	35,719	54,269	57,521	52,679	63,267					
	単位あたりコスト ÷	円	48,009	37,298	42,926	22,815	37,216					
	財源	受益者負担分	千円	2,281	3,439	1,807	2,227	1,975				
		国都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0				
		特定財源計 +	千円	2,281	3,439	1,807	2,227	1,975				
差引:一般財源 -	千円	33,438	50,830	55,714	50,452	61,292						
受益者負担比率 ÷	%	6.4	6.3	3.1	4.2	3.1						

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成6年度に協会を設立、リサイクルショップすぎなみの運営を行う。平成11年度にリサイクルひろば高井戸を開設、事業を拡大した。平成12年度より集団回収事業を区直営から、リサイクル協会の事業とした。平成13年3月末にリサイクルショップを閉鎖。平成14年度にNPO法人格取得の検討を開始した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	長期化する景気の低迷で安価な中古品への要望は多い。また、環境問題・資源保護の観点から、資源再利用の要望も多く、区民の期待は大きい。
	今後の予測	平成14年4月からNPO法人格取得の検討を開始した。秋口に取得申請を行い、年度内に法人に移行する予定。15年度は事業収入、受託事業収入、寄付金・会費収入による事業運営を行う予定。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		集団回収事業				整理番号	589		枝番号				
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230214	連絡先電話番号	3063		昨年度整理番号	638			
係名		リサイクル推進係			上位施策名				NO				
予算事業名		リサイクルの推進			コード	56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		17			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		4 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 集団回収実施団体報奨金支給要綱(杉並リサイクル協会)						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)								
	主体的に資源回収に取り組む10世帯以上でつくる集団回収登録団体		(3)										
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		集団回収事業に参加するグループは、杉並リサイクル協会に登録申請を行う。回収したびん、缶、古紙、布などを資源回収業者に引渡し、回収量報告書を杉並リサイクル協会に提出する。3ヶ月に1度、回収量に応じた報奨金の支給を受ける。集団回収事務は、12年度から杉並リサイクル協会が行っている。				活動指標名(式)						
意図(対象をどのような状態にしたいのか)		主体的な資源回収により、良質な資源を多く集め、ごみの減量とリサイクルの推進を図る。また、地域のつながりを強める。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		良質な資源を大量に回収することで、ごみの減量とリサイクルの推進に大きく貢献する。また、リサイクル意識の向上や環境問題への関心を喚起し、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再資源化(リサイクル)につながる。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%				
指標	活動指標(1)		kg	5,265,422	4,292,212	4,500,000	4,165,261	4,800,000	4,582,000	90.9			
	活動指標(2)		団体	595	223	235	224	239	270	83.0			
	成果指標(1)		kg	8,849	19,248	19,149	18,595	20,084	16,970	109.6			
	成果指標(2)		世帯	111,964	54,411	59,205	58,804						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	45,081	20,441	27,997	26,405	29,847	特記事項				
	(内)委託費		千円		20,441	27,997	26,405	29,847	平成11年6月に集団回収事業を統廃合した。また、平成12年度より杉並リサイクル協会が、集団回収事務を行い、経費は補助金として支給。				
	職員数(正規 非常勤)		人	1.70	0.11								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	15,424	998	0	0			0		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 ++		千円	60,505	21,439	27,997	26,405	29,847					
	単位あたりコスト ÷		円	11	5	6	6	6					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	60,505	21,439	27,997	26,405	29,847						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		東京都が立ち上げたもの等、3種類あった集団回収を、平成11年度清掃事業の資源回収開始を契機に1本にまとめ、さらに平成12年度に事務を杉並リサイクル協会に移した。団体構成員の高齢化などに伴い、資源回収開始時に集団回収をやめた例も見受けられた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		集団回収統廃合時には、最も経費負担の少ない事業を残したため、今までより団体の収益が減ることに反対する意見もあったが、現在、同様な意見はない。										
	今後の予測		集団回収の啓発を進めることにより、意識が高く協力できる人は集団回収、時間がない等で協力できない人は資源回収と、回収の特性を踏まえ2極化すると考えられる。清掃事業の資源回収には、多くの経費がかかるため、十分な情報の提供と啓発を行い集団回収事業にシフトすることが望まれる。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動植物生息状況調査・生き物アンケート調査				整理番号	630		枝番号			
所属部課名		環境清掃部管理化		コード	連絡先電話番号		3715		昨年度整理番号	677		
係名 庶務係(環境都市推進担当)					上位施策名					NO		
予算事業名		自然環境保全		コード	67100		環境施策の総合的推進					
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		60 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		杉並区の昆虫・野鳥・野草等		(1) 自然環境保全法 (2) 環境基本法 (3) 東京における自然の保護と回復に関する条例					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		杉並の生き物アンケート調査協力者約530名の協力により、杉並区を50数箇所のメッシュに分け、四季折々の昆虫(含、せみの抜け殻)・野鳥(含、ツバメの巣)・野草の分布状況を5年毎に2年間調査を行う。調査結果は、学識経験者によって行われる杉並区動植物生息状況調査とともに3年目に報告される。				活動指標名(式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		杉並の自然環境の状況を5年間隔で調査し、その変遷を把握していくこと。				成果指標名(式)					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		区民の自然保護の意識を高め、暮らしと環境の調和がとれた環境先進都市杉並の創造に寄与する。				(1) $\frac{\text{延べアンケート回収率}}{\text{報告書の発行回数}} \times 100$ (2) $\frac{\text{今回の延べアンケート回収率}}{\text{前回の延べアンケート回収率}} \times 100 \times \text{報告書の発行回数}$					
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			14年度			
指標	活動指標(1)			11	13	9	1		1	900.0		
	活動指標(2)											
	成果指標(1)			98	118	82	1		1	8180.0		
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	368	6,839	6,400	8,800		特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人		0.50	0.50	0.50	0.10				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	4,537	4,538	4,538		908		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0		
	総事業費 ++		千円	0	4,905	11,377	10,938	9,708				
	単位あたりコスト ÷		円		445,864	875,115	1,215,278	9,707,500				
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0		
差引:一般財源 -		千円	0	4,905	11,377	10,938	9,708					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和60年に開始以来、今回で第4次を迎える。調査者は現在529名と減少している。15年の間にみどりが増え、生態系に大きな変化が生じた。動植物の種類、数とも減少している。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		杉並区内の調査結果の解析だけでなく、周辺や経過年とを合わせた、総合的な解析を望む専門家の要望がある。									
	今後の予測		杉並区の動植物生息状況調査は、自然環境の変化を定期的に把握した貴重なものである。継続的に実施すべきだが、関係している学識経験者が高齢化しており、後継者の育成が望まれる。また実施方法や報告書の監修方法等もITの活用が望まれる。環境の世紀を迎え、自然環境の基礎データの蓄積は、総合的な区の環境政策に必要不可欠である。今後もITの活用									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理				整理番号	632		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3053		昨年度整理番号	678		
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		リサイクル・清掃管理		コード	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	内部管理事務		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		清掃事業担当各課との連絡調整事務。清掃関係情報の収集、提供事務。ごみの搬入、搬出に関するデータの集積を行い、出先機関と本庁においてごみ量を把握する。					活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		業務遂行に必要な情報提供や機器整備、設備維持が行われ、清掃事業が円滑に行われる。					成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		清掃総合情報システムは、正確なデータを共有することにより、事務処理の効率化を実現させている。清掃に関する新しい情報が各課に提供されるので、業務の遂行にあたって活用できている。他の自治体や機関との情報交換を行うことで、新しい施策の構築や計画策定において役立っている。										
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画	18 年度				
指標	活動指標 (1)		人	381	378	377	365					
	活動指標 (2)		課	5	5	5	4					
	成果指標 (1)											
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	8,404	14,709	10,978	11,116	特記事項				
	(内)委託費		千円									
	職員数 (正規   非常勤)		人		3.00   0.00	2.80   0.00	1.47   0.00	2.39   1.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	27,219	25,410	13,340	21,689			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	2,966			
	総事業費 + + +		千円	0	35,623	40,119	24,318	35,771				
	単位あたりコスト ÷		円		93,499	106,135	64,505	98,003				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引：一般財源 -		千円	0	35,623	40,119	24,318	35,771					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度清掃事業区移管に伴う新規事業									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		なし									
	今後の予測		平成18年度に中間処理を含めた清掃事業の完全移管が予定されている。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃審議会の運営				整理番号	633		枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3055		昨年度整理番号	679	
係名				清掃計画係		上位施策名			NO		
予算事業名		リサイクル・清掃管理		コード	56275	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17		
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期				● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
	杉並区清掃審議会 (区民、区議会議員、学識経験者から計15名以内で組織)				(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例に基づき、区長の附属機関として設置され、廃棄物の処理及び再利用の促進の基本方針に関すること等を調査審議する。				(1) 審議会開催数 (2) 出席委員延べ人数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
区民等の意向を区の清掃・リサイクル行政に反映させる。				(1) 中間答申、答申及び提言の数 (2) 委員の出席率							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区民等の意向を区政に反映した清掃・リサイクル事業を推進することができる。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	回		5	8	12	8				
	活動指標(2)	人		65	120	114	120				
	成果指標(1)	件		0	1	1	1				
	成果指標(2)	%		87	100	84	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円		988	1,878	1,772	1,878	特記事項		
	(内)委託費		千円		0	0	0	0	13年度審議会開催数 全体会6回 分科会6回		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.55	1.10	1.28	0.60			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	4,990	9,983	11,616	5,445			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	5,978	11,861	13,388	7,323			
	単位あたりコスト ÷		円		1,195,630	1,482,563	1,115,667	915,375			
	財源	受益者負担分		千円		0					
		国 都等からの支出金		千円		0					
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	5,978	11,861	13,388	7,323				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年7月 杉並区清掃審議会設置。 平成12年9月 区長より杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の諮問を受ける。 平成13年10月 中間答申を行う 平成14年7月 最終答申を行う								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		なし								
	今後の予測		区民のごみ減量やリサイクルに対する関心はますます高まるものと考えられる。また、平成18年度には、清掃事業の完全移管が予定されおり 今後の清掃・リサイクル事業を実施していく上での清掃審議会の役割も重要度を増すものと考えられる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般廃棄物処理計画の改定				整理番号	634		枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3055		昨年度整理番号	680	
係名				清掃計画係		上位施策名			NO		
予算事業名				リサイクル・清掃管理		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17		
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 12年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業終期				○ 無 ● 有 平成 14年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
今後の清掃・リサイクル事業のあり方				今後の清掃・リサイクル事業のあり方		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	杉並区清掃審議会に対して「一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」を諮問。審議会からの答申を受けて計画を改定。計画の改定に当たっては支援業務をコンサルタント会社に委託する。				(1) 計画策定のために作成した資料数						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)						
	区の新基本構想である21世紀ビジョンに即した内容に一般廃棄物処理基本計画を改定し、今後の清掃・リサイクル事業のあり方を明確化する。				(1) 計画策定達成率						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
区の清掃・リサイクル事業を実施していく上での指針となる。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		14年度	14年度			
指標	活動指標(1)	件		39	30	27	15				
	活動指標(2)	回		10	16	24	16				
	成果指標(1)	%		30	60	60	100	100	60.0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円		3,360	4,995	4,988	20,500	特記事項		
	(内)委託費		千円		3,360	4,995	4,988	20,500	14年度計画事業費の内訳 計画策定支援業務委託 7,000千円 計画基礎調査委託 10,000千円 不燃ごみ組成調査 3,500千円		
	職員数(正規 非常勤)		人		1.69	0.90	1.28	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	15,333	8,168	11,616	4,538			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	18,693	13,163	16,604	25,038			
	単位あたりコスト ÷		円		479,317	438,750	614,963	1,669,167			
	財源	受益者負担分		千円		0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円		0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	18,693	13,163	16,604	25,038				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年9月 清掃審議会に対し「杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」を諮問。 平成13年10月 清掃審議会から中間答申を受ける。 平成14年1月 東京都において、新たに「東京都廃棄物処理計画」が策定される。 平成14年7月 清掃審議会から最終答申を受ける。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		集積所、排出マナー、収集方法等の区民にとって身近な問題に対する意見や苦情が多い。また、ごみ減量やリサイクル意識の高まりにより、ごみ処理やリサイクルに対する意見や要望も寄せられている。								
	今後の予測		清掃審議会からの答申を受け、平成14年中に一般廃棄物処理基本計画を改定予定。 平成18年度には清掃事業の完全移管が予定されている。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ減量運動の普及・広報				整理番号	636		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3065		昨年度整理番号	682		
係名		ごみ減量担当			上位施策名				NO			
予算事業名		普及啓発		コード	67900		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			17		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	区民、事業者		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名 (式)						
	「ごみの正しい分け方・出し方」チラシ、同チラシ外国語版を作成し、対象者に配布する。また、東京二十三区清掃協議会で「23区清掃とリサイクル」や「できることからはじめよう！(小学生用副読本)」を作成し、各区に配分し、対象者に配布する。このことにより、区の清掃事業、ごみの出し方や分別の方法をPRする。					(1) パンフレット チラシ延べ作成数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名 (式)							
清掃事業をより深く理解してもらい、ごみの減量化を図る。					(1) 不燃ごみとして排出された中の可燃ごみの混入率							
					(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
清掃事業を理解してもらうことが、ごみの発生抑制とリサイクル推進の基礎となる。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標 (1)		部	3100	320250	446000	33600					
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)		%	10	9	11	9					
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	956	6,755	8,074	2,688		特記事項			
	(内)委託費		千円						平成13年度では、ごみの出し方チラシを全戸配布したが、平成14年度については、ごみの出し方チラシの内容変更がないので全戸配布はしない。しかし、視覚障害者用ごみの出し方チラシ等を作成する。			
	職員数 (正規   非常勤)		人	1.00	0.70   1.00	0.70   1.00	0.80					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	9,073	6,353	6,353			7,260	
		非常勤職員分		千円	0	0	2,966	2,966			0	
	総事業費 ++		千円	0	10,029	16,074	17,393	9,948				
	単位あたりコスト ÷		円		3,235	50	39	296				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0				
差引：一般財源 -		千円	0	10,029	16,074	17,393	9,948					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		12年度新規事業であるが、清掃事業の理解とごみの減量について理解が深まりつつある。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		清掃事業は、区民にとって身近な問題なため、集積所、排出マナー、収集時間などに対する意見、要望、苦情が多い。また、ごみ減量やリサイクルへの意識の高まり先区民にあるため、ごみ処理やリサイクルに対する意見や要望も寄せられている。									
	今後の予測		今後、循環型社会に向けた法整備や拡大生産者責任の重視などにより 廃棄物処理・リサイクルルートが複雑化してくると思われ、計画的な普及啓発とタイムリーなPRが必要となる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		マイバッグの推進				整理番号	637		枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3065		昨年度整理番号		
係名		ごみ減量担当		上位施策名				NO			
予算事業名		普及啓発		コード	56280	環境配慮行動の推進					
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		13 年度		根拠法令等				
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民、事業者								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民参加によるマイバッグ製作教室・コンテストなどの活動を行い、レジ袋からマイバッグへのライフスタイルの転換を促し普及啓発を推進する。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		ごみ減量の意識啓発を図る。				成果指標名(式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ごみの減量を理解してもらうことが、ごみの発生抑制とリサイクル推進の基礎となる。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		回			2	2	2			
	活動指標(2)		回			1	1	1			
	成果指標(1)		人			80	68	80			
	成果指標(2)		人			30.00	31.00	30.00			
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,223	3,017	2,139	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規   非常勤)		人			0.80	0.85	0.80			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	7,260	7,714	7,260		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	9,483	10,731	9,399			
	単位あたりコスト ÷		円			4,741,500	5,365,375	4,699,500			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	9,483	10,731	9,399				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成13年度新規事業								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		マイバッグ製作教室では、募集とともに参加の問合せがあり 当日は講師や補助員の説明が分かり易く上手にできたと言った意見が多いたへん好評であった。								
	今後の予測		ごみの減量に向けてマイバッグの普及促進を図るため、関係課等の取組み状況を踏まえて進めていくことが必要である。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理				整理番号	641		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230202	連絡先電話番号	3057		昨年度整理番号	686		
係名		清掃職員係				上位施策名			NO			
予算事業名		指導業務		コード	56285	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 道路交通法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区職員研修実施要綱							
	清掃事務所・清掃事業所職員、正副安全運転管理者、衛生管理者		(3) 労働安全衛生法、安全作業手順									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名 (式)									
	清掃職員向けに交通安全講習会を、春・秋に開催する。正副安全運転管理者に対する講習会を行う。自動車運転職員に対する運転技術研修を行う。職場内研修の充実。部及び所の安全衛生委員会の定期的開催。安全パトロールの実施。保護員の支給及び適正な着用		(1) 交通安全講習会受講者数及び自動車運転手等研修受講者数 (2) 安全衛生委員会開催数									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名 (式)										
交通安全に対する管理体制を強化する。自動車運転職員の運転技術の向上と安全運転意識を高める。交通事故件数を減少させる。公務災害の発生を防止する。		(1) 交通事故等件数 / 講習会受講者数 × 100 (2) 公務災害発生件数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 交通事故、作業事故を無くして、安全なごみ収集作業を実現する。												
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%			
					計画	実績		15年度				
指標	活動指標 (1)		人	424	410	502	579	579	86.7			
	活動指標 (2)		回	38	38	23	39	40	57.5			
	成果指標 (1)		%	2	0		0	0				
	成果指標 (2)		件	16.00	0.00	17.00	0.00	0.00				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	332	9,772	7,534	13,330	特記事項				
	(内)委託費		千円	0	0	0	32	13年度から交通安全運転講習会、自動車運転職員等の研修は、各清掃事務所、清掃事業所で予算編成している。 また、保護員等を安全管理用品として各所とで当事業で予算編成を行ったため、予算規模が大きくなった。 14年度から、「交通事故処理対策事業」が経理課の事業になったが、そのうち所対応する予算が当事業に残った。 (数値は、いずれも各所予算の合算額)				
	職員数 (正規   非常勤)		人	1.40	1.40	1.40	1.40					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	12,702	12,705	12,705					12,705
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	0	13,034	22,477	20,239					26,035
	単位あたりコスト ÷		円		30,741	54,822	40,317					44,965
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0					0
		国 都等からの支出金		千円	0	0	0					0
		特定財源計 +		千円	0	0	0					0
差引:一般財源 -		千円	0	13,034	22,477	20,239	26,035					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度の清掃事業の移管により都の事業から区の事業になった。ごみの減量により 移管時に405人 (うち、自動車運転手47名)いた清掃職員 (嘱託員を含む)が、平成14年度には、377人 (うち、自動車運転手44名)に減少した。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		直営車が雇上車かは特定できないが、運転マナーに対する苦情があった。									
	今後の予測		道路事情や収集形態の変化など、ごみの収集をとまぐ環境の変化の中で、引き続き交通安全対策、安全管理は重要である。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通事故処理対策				整理番号	642		枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230303	連絡先電話番号	3053		昨年度整理番号	687	
係名		清掃職員係			上位施策名				NO		
予算事業名		指導業務		コード	56285	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 民法715条				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		清掃関係車両による自動車事故の被害者、加害者他関係者		(2)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		清掃関係車両による自動車事故が発生した場合の保険会社との連絡、現場調査、示談内容の決定、清掃協議会への報告などを行う。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		事故発生後に適正な事後処理をし、被害者に対しての救済措置を迅速に行う。また、事故を事例として安全運転の指導を行い、事故防止を図る。				成果指標名(式)				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		交通事故の補償などの対応について備え、安全対策を図ることで、ごみ収集サービスに貢献する。								
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		件	10	10		6		0		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,517	3,564		3,055		4,440	特記事項	
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人		0.55	0.65		0.64			0.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	4,990		5,899			5,808
		非常勤職員分		千円	0	0		0			0
	総事業費 ++		千円	0	8,507	9,463		8,863			4,440
	単位あたりコスト ÷		円		850,715	946,275		1,477,167			740,000
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0		0			0
差引:一般財源 -		千円	0	8,507	9,463		8,863		4,440		
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0		0.0		0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		清掃事業移管時より、清掃関係車両は自動車任意保険に加入し、保険会社による示談代行、補償などを行ってきた。14年度から他の庁有車も任意保険に加入することに伴い、事務処理を経理課で行う。14年度は予算の執行委任を行い、15年度より経理課の予算配当となる。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待、要望、苦情など)		事故処理担当者、保険会社により迅速な対応を心掛けているので、一般的には苦情、要望などはない。								
	今後の予測		交通事故処理対策を庁内で一本化することにより、事故防止対策、交通安全対策などの効率化が図られる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ペットボトルの回収				整理番号	647		枝番号		
所属部課名 環境清掃部 清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3063		昨年度整理番号	692		
係名	リサイクル推進係				上位施策名				NO		
予算事業名	ごみ収集作業等		コード	56295		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				17	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		ペットボトル排出者		(2) 容器包装リサイクル法				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		ペットボトルを回収協力店の店頭より回収し、容器包装リサイクル法に基づく、指定法人ルートによる資源化を行う。				活動指標名 (式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		ペットボトルを不燃ごみとして処理せずに資源化する。				成果指標名 (式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 資源化の推進により不燃ごみの減量と最終処分場の延命化に大きく寄与する。											
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			19年度		
指標	活動指標 (1)		t	407	558	480	800		709	67.7	
	活動指標 (2)		箇所	256	300	300	350		400	75.0	
	成果指標 (1)		%	27	35	31	35				
	成果指標 (2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	82,044	90,210	77,493	85,067		特記事項		
	(内)委託費		千円		25,447	22,522	23,758				
	職員数 (正規   非常勤)		人		0.43	0.29	0.31	0.29			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	3,901	2,632	2,813		2,632	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		0	
	総事業費 + +		千円	0	85,945	92,842	80,306	87,699			
	単位あたりコスト ÷		円		211,168	166,383	167,305	109,623			
	財源	受益者負担分		千円							
		国 都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0		0	
差引:一般財源 -		千円	0	85,945	92,842	80,306	87,699				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		実施計画に基づき店頭回収拠点を増設している。また、平成14年6月、第3期分別収集計画により回収量の大幅な見直しをした。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		店頭回収拠点の増設、集積所での回収を望む声もある。								
	今後の予測		ペットボトルが飲料容器として利便性が高いことから日常生活に定着し、生産量も伸びている。このことから回収コスト、資源化コストが伸びると推測される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		びん・缶・古紙回収				整理番号	648		枝番号					
所属部課名 環境清掃部 清掃管理課		コード	230214		連絡先電話番号	3063		昨年度整理番号	693					
係名 リサイクル推進係		上位施策名						NO						
予算事業名 ごみ収集作業等		コード	56295		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				17					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		11 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則									
	区内一般家庭及び事業者				(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		飲食用びん、缶、古紙の資源を区内のごみ集積所にて週1回収する。		活動指標名(式)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		可燃、不燃ごみとして排出されていた資源を分別回収することにより、資源の有効利用とごみの減量を推進する。		成果指標名(式)									
				(1) 資源化率										
				(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
資源回収の推進により、ごみとして処理していたものを資源として活用することができる。また、ごみの減量は最終処分場の延命化に大きく寄与する。														
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%					
					計画	実績		19年度						
指標	活動指標(1)		t	5,693	26,847	26,852	28,285	28,851	31,362	90.2				
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	16.2	18.7		18.5							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	235,758	783,195	875,279	812,900	889,971	特記事項 平成11年度実績は、6月末で統廃合した分別回収事業と6月28日から東京都共同で実施した「東京ルール」のうち、杉並扱い分の合計である。 平成13年度において、資源化率の算出方法を23区統一算出したため、平成12年度と平成13年度に差が生じた。					
	(内)委託費		千円			569,754	505,521	603,551						
	職員数(正規 非常勤)		人	2.50	34.28	23.00	27.79	14.00			29.45	18.00	30.07	18.00
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	22,683	311,022	252,194	267,259			272,885			
		非常勤職員分		千円	0	67,597	41,524	53,388			53,388			
	総事業費 ++		千円	258,441	1,161,814	1,168,997	1,133,547	1,216,244						
	単位あたりコスト ÷		円	45,396	43,275	43,535	40,076	42,156						
	財源	受益者負担分		千円	41,070	58,570	55,721	40,221			43,615			
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	41,070	58,570	55,721	40,221			43,615			
差引:一般財源 -		千円	217,371	1,103,244	1,113,276	1,093,326	1,172,629							
受益者負担比率 ÷		%	15.9	5.0	4.8	3.5	3.6							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成7年度から拡大実施してきた分別回収事業(びん・缶)の回収が、平成11年6月28日から都、清掃事務所と共同で実施した「東京ルール」に統合され、びん・缶に加え古紙も回収品目として区内全域のごみ集積所で週1回収することとなった。現在もルールに変更はなく週1回の回収を実施している。事業開始により集団回収事業の団体数、回収量ともに減となった。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・びん、缶回収用のコンテナの住民による管理が負担であるとの苦情がある。 ・古紙回収において、区が委託した業者以外の者の持ち去りが横行し、持ち去り業者の排除を望む声が寄せられている。 ・ルールの推進に対して、集団回収の位置付けが明確でないとの声がある。											
	今後の予測		びん、缶、古紙の集積所回収が始まり3年が経過したことで、住民に定着した感がある。他のごみへの混入率もそれほど多くない。回収量等大幅に変化することはないと考えられる。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみの収集、運搬				整理番号	649		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230208	連絡先電話番号	3055		昨年度整理番号	695		
係名		清掃計画係				上位施策名			NO			
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	56295	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	区内一般家庭及び事業者（日量50kg未満）		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		活動指標名（式）									
分別して排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどをごみ集積所等から収集し、杉並清掃工場等へ搬入する。						(1)  ごみ量						
						(2)  作業日数						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		成果指標名（式）										
廃棄物の発生を抑制し、適正に収集することにより、良好な生活環境を保持する。						(1)  ごみ量減量率						
						(2)  一作業日当たりの収集量						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
生活環境の保全を推進する。												
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度				14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績	23	年度					
指標	活動指標(1)	t		138608	154101	135497	149124	157000	86.3			
	活動指標(2)	日		311	310	310	311					
	成果指標(1)	%		-	111	98	110					
	成果指標(2)	t		445.68	497.10	437.09	479.50					
総事業費・コスト把握	事業費		千円		1,020,320	992,522	952,480	1,034,874	特記事項			
	(内)委託費		千円			44,313	43,298	30,612	活動指標(1)ごみ量は、資源を除く区収集量。			
	職員数(正規 非常勤)		人		210.07 38.00	197.20 43.00	208.42 39.00	182.27 39.00	成果指標(1)ごみ量減量率は、前年度実績量との比率。			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,905,965	1,789,590	1,891,412	1,654,100	受益者負担分は、有料ごみ処理券等。			
		非常勤職員分	千円	0	111,682	127,538	115,674	115,674				
	総事業費 + +		千円	0	3,037,967	2,909,650	2,959,566	2,804,648				
	単位あたりコスト ÷		円		21,918	18,881	21,842	18,807				
	財源	受益者負担分		千円		505,866	468,251	438,489	461,240			
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	505,866	468,251	438,489	461,240			
差引：一般財源 -		千円	0	2,532,101	2,441,399	2,521,077	2,343,408					
受益者負担比率 ÷		%		16.7	16.1	14.8	16.4					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		ごみ量は、区民のごみ減量・リサイクル意識の向上や長引く不況により減少傾向にある。ただし、12年度と13年度の実績量を比較してみると、可燃ごみの減少に対し不燃ごみは微増となっている。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		カラスによる集積所周辺のごみ散乱や収集時間に対する要望・苦情が多い。また、東京都からの移管で、清掃事業がより身近になったことにより、迅速できめ細かなサービスを望む意見が寄せられている。									
	今後の予測		景気回復によるごみ量の増加が懸念される。一方、区民のごみ減量・リサイクル意識は、今後ますます高まるものと思われる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金				整理番号	654		枝番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3053		昨年度整理番号	700	
係名		管理係				上位施策名				NO	
予算事業名		一部事務組合等負担金		コード	56310	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		○ 無 ● 有		平成 17年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約				(3) 東京二十三区清掃協議会規約		
	東京二十三区清掃一部事務組合		東京二十三区清掃協議会								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		特別区で行っていないごみの中間処理などを共同処理するため、各区の人口数に応じた負担金を支出する。				活動指標名 (式)				
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		各区からの負担金により、東京二十三区清掃一部事務組合は可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道投入について、共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び清掃一部事務組合等との連絡調整を行う。				成果指標名 (式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ごみの中間処理を共同で行うことにより、清掃事業の効率化が実現できている。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%	
指標	活動指標 (1)		人	513,180	517,000		515,945		515,945		
	活動指標 (2)										
	成果指標 (1)		t	154,830	181,164		151,872		178,315		
	成果指標 (2)		k1	477.02	418.19		256.73		440.84		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,438,040	2,618,079		2,609,965		2,447,495	特記事項	
	(内)委託費		千円	0	0		0		0		
	職員数 (正規   非常勤)		人		0.10   0.00	0.10   0.00	0.19   0.00	0.21   0.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	907		908		1,724	1,906
		非常勤職員分		千円	0	0		0		0	0
	総事業費 + +		千円	0	2,438,947	2,618,987		2,611,689		2,449,401	
	単位あたりコスト ÷		円		4,753	5,066		5,062		4,747	
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0		0		0	0
差引：一般財源 -		千円	0	2,438,947	2,618,987		2,611,689		2,449,401		
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0		0.0		0.0		
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度清掃事業区移管に伴う新規事業								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		なし								
	今後の予測		平成18年度に中間処理を含めた清掃事業の完全移管が予定されている。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃関係表彰				整理番号	635		枝番号			
所属部課名		環境清掃部清掃事務所		コード	230731	連絡先電話番号	昨年度整理番号		681			
係名		管理係			上位施策名				NO			
予算事業名		普及啓発		コード	56280	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 13年度		(1) 清掃功労者(功労団体)感謝状贈呈基準					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		清掃事業に貢献した功績顕著者、清掃事業従事者		(2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		各清掃事務所で清掃事業に貢献した者を推薦し、表彰者を決定する。表彰者は、清掃協会の総会において表彰される。				活動指標名(式)				(1) 清掃功労者表彰者数	
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		清掃事業に貢献した功績顕著者、その功績に報いる。				成果指標名(式)				(1) 清掃功労者表彰者数	
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		ごみ排出の意識を高め、分別や排出日の徹底など、リサイクル、排出の適正化、まちの美化等を図ることができる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			15年度			
指標	活動指標(1)			0	45	0	0		0			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)			0	45	0	0		0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	49	0	0		特記事項			
	(内)委託費		千円									
	職員数(正規 非常勤)		人			0.40	0.00	0.00				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	3,630	0	0			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	3,679	0	0				
	単位あたりコスト ÷		円			81,756						
	財源	受益者負担分		千円								
		国都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,679	0	0					
受益者負担比率 ÷		%			0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度清掃事業が区に移管され、区対応になった。									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		なし									
	今後の予測		区においては、貢献者表彰等類似した表彰制度があるため、清掃独自の表彰制度は統合される。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃協力会				整理番号	638		枝番号					
所属部課名		環境清掃部 西・東清掃事務所		コード	230731	連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	683				
係名 管理課					上位施策名					NO				
予算事業名 普及啓発					コード	679				ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上	20			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区西清掃協力会会則 杉並区東清掃協力会会則									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 西・東清掃協力会				(2) 杉並区西清掃協力会婦人部規約 杉並区東清掃協力会女性部規約 (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 清掃思想の普及、環境美化、ごみの再利用の促進及び減量化、排出ルールの普及などの活動を行う。				活動指標名(式) (1) 清掃懇談会及び女性部会等参加者数 (2)									
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民、事業者が清掃に関する理解を深め、ごみの再利用の促進や適正排出、減量化に積極的に取り組む。				成果指標名(式) (1) 資源化率(ごみ量中の資源の率)% (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 資源循環型社会づくりに貢献している。														
区分		単位	11年度実績		12年度実績		13年度		14年度計画		目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
							計画	実績			17 年度			
指標	活動指標(1)			966		930		985		1000		1000	98.5	
	活動指標(2)													
	成果指標(1)			18.5		19		19.6		20		20	98.0	
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	708		708		708		708		特記事項		
	(内)委託費		千円	708		708		708		708				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.62		0.42		0.42		0.42			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		5,625		3,812		3,812		3,812	
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0		0	
	総事業費 ++		千円	0		6,333		4,520		4,520		4,520		
	単位あたりコスト ÷		円			6,556		4,860		4,588		4,520		
	財源	受益者負担分		千円										
		国都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	0		6,333		4,520		4,520		4,520			
受益者負担比率 ÷		%			0.0		0.0		0.0		0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区部(23区)のごみ量(単位:千トン) 平成元年度 4,901 平成5年度 4,400 平成10年度 3,925 平成13年度 3,523 資源化率(ごみ収集量中の資源の率)平成11年6月から開始 排出者である区民のごみ減量、資源化への理解・協力が高まり、分別排出が促進され、資源化率が向上してきている。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		協力会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高い。また、チラシ配布・ごみの排出指導など事務所への協力度も高い。											
	今後の予測		ごみゼロ社会づくりをめざした、さらなるごみの減量化、再資源化、再利用の促進のためには、これまで以上に区民・事業者の理解および参加が必要不可欠である。行政と住民のパイプ役を担っている協力会の役割は今後ますます重要になっていく。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指導管理（事業用大規模建築物への指導）				整理番号	639		枝番号	
所属部課名 環境清掃部清掃事務所		コード	230731		連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	684	
係名 作業係		上位施策名						NO		
予算事業名 ゴミ収集作業等		コード	68300		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				17	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
	事業用延べ床面積3,000㎡以上の大規模建築物の所有者、占有者、管理者		(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 事業者に対する法令上の義務の周知及び履行				活動指標名（式） (1) 立入指導件数 (2)					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 事業者に対し、廃棄物の発生抑制、再生利用、資源化による減量及び再生処理の確保				成果指標名（式） (1) 事業用ごみの再利用量 (2) 事業用ごみの再利用率					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか ごみの減量による、処理施設への負担の軽減										
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)	件		140	140	154	180	190	81.1	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	t		8633	12800	12864	15360	16000	80.4	
	成果指標(2)	%		48.00	57.50	58.05	59.50	62.00	93.6	
総事業費・コスト把握	事業費		千円		16	390	171	369	特記事項 指導管理 一般廃棄物マニフェスト制度の実施 事業者による再利用の推進	
	(内)委託費		千円		0	0	0	0		
	職員数(正規 非常勤)		人		0.89	0.89	0.89	1.31		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	8,075	8,077	8,077	11,888		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	8,091	8,467	8,248	12,257		
	単位あたりコスト ÷		円		57,793	60,477	53,557	68,096		
	財源	受益者負担分		千円						
		国 都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	8,091	8,467	8,248	12,257			
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		廃棄物管理責任者の選任施設の増加に伴い、ごみの減量・適正処理が向上した。 平成14年7月から、指導対象が事業用延べ床面積3,000㎡から1,000㎡に拡大された。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		不適正処理の減による環境衛生の向上							
	今後の予測		対象施設の拡大による(飲食店等)事業系廃棄物の減量							

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導				整理番号	640	枝番号			
所属部課名 環境清掃部 西・東清掃事務所		コード		連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	685				
係名	作業係	上位施策名					NO				
予算事業名	指導業務	コード		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上					20		
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第19条					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第15条					
	区民及び区内事業者						(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第66条				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 集積所単位でごみの適正排出及び事業系有料ごみ処理券貼付(受益者負担)の指導を計画的に実施する。					活動指標名(式)					
						(1) 集積所指導件数 (2)					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) ・可燃、不燃、資源の分別排出の徹底及びごみ減量、リサイクルの推進 ・有料ごみ処理券貼付の徹底					成果指標名(式)						
					(1) 不燃ごみの資源の混入率 (2) 資源化率						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 分別の徹底による効率的な資源化の推進、ごみの減量、集積所環境の保持及び事業者の経済的負担の公平化に貢献する。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		年度	年度			
指標	活動指標(1)	件		1,984	2,500	2,296	2,700				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%		10.7		12.1					
	成果指標(2)	%		18.5		19.6					
総事業費・コスト把握	事業費		千円		10,639	10,142	8,052	6,732	特記事項		
	(内)委託費		千円								
	職員数(正規 非常勤)		人		11.50	11.39	12.04	12.00			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	104,340	103,364	109,263	108,900			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	114,979	113,506	117,315	115,632			
	単位あたりコスト ÷		円		57,953	45,403	51,095	42,827			
	財源	受益者負担分		千円							
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	114,979	113,506	117,315	115,632				
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		不適正排出者を特定するため、ごみの内要調査を行っている。このことに対して、プライバシーの侵害ではないかとの苦情が若干ある。								
	今後の予測		廃プラスチック類(容器包装リサイクル法対象)の分別収集が実施された場合、この分の排出指導も必要となる。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	643		枝番号	1			
所属部課名		環境清掃部 東清掃事務所		コード	230731		連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	688		
係名		管理係				上位施策名			NO				
予算事業名		東清掃事務所維持管理		コード	69300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 建築基準法						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		東清掃事務所庁舎の維持運営		(2) 消防法						
							(3) 電気事業法						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		清掃事務所の維持管理、設備の保守委託、修理				活動指標名 (式)						
							(1) 建物面積 (㎡)						
						(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		建物、設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等維持管理費を抑制する。				成果指標名 (式)							
						(1)							
						(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
ISO14001を認証取得したことを踏まえ、さらにエネルギー消費を削減するとともに、修理経費の増大を防ぐ。													
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			15年度				
指標	活動指標 (1)		㎡		1875.64	1875.64	1875.64	1875.64	1875.64	100.0			
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)												
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円		36,390	48,901	46,021	35,075		特記事項			
	(内)委託費		千円			7,952	7,499	7,759					
	職員数 (正規   非常勤)		人			0.99	0.99	0.99					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	8,984	8,984	8,984				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0	36,390	57,885	55,005	44,059					
	単位あたりコスト ÷		円		19,401	30,862	29,326	23,490					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	36,390	57,885	55,005	44,059						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和54年に建設され、平成9年度に外壁・屋根・機械設備等の改修工事を実施しているが、建物全体が老朽化している。平成13年度にボイラーの取り替えを行い、省エネルギー型を導入した。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		騒音・振動・臭気・車両交通の苦情、要望は特段ない。										
	今後の予測		建築後の年数が経過するにつれ、修繕費が増加する。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	643		枝番号	2		
所属部課名		環境清掃部 西清掃事務所		コード	230630		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	688	
係名		管理係				上位施策名			NO			
予算事業名		西清掃事務所維持運営		コード	56291		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20		
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		根拠法令等					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		西清掃事務所、下井草分室の維持運営。		(1) 消防法 (2) 建築基準法 (3) 電気事業法 地方自治法第 281 条					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		西清掃事務所、下井草分室の各庁舎の維持管理及び運営を行う。設備の保守委託・修理。				活動指標名 (式)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		建物、設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等維持管理費を抑制する。				成果指標名 (式)					
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		建替時まで現施設の経費を最小に抑え、保持していく。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
					計画	実績			年度			
指標	活動指標 (1)					1,387.66	1,387.66	1,387.66				
	活動指標 (2)											
	成果指標 (1)											
	成果指標 (2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円		61,431	55,508	47,678	48,566		特記事項		
	(内)委託費		千円		6,956	10,599	6,713	7,995				
	職員数 (正規   非常勤)		人		4.20	4.20	4.20	4.20				
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	38,107	38,115	38,115	38,115			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	99,538	93,623	85,793	86,681				
	単位あたりコスト ÷		円			67,468	61,826	62,466				
	財源	受益者負担分		千円								
		国 都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	99,538	93,623	85,793	86,681					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		12年度より東京都から事業移管。建物の老朽化や分室に分けなければならない手狭さなどの課題がある。西清掃事務所は昭和 41年 6月建築 784.70㎡ 下井草分室は昭和 58年 9月建築 602.96㎡									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)											
	今後の予測		ごみ量の動向、リサイクルの推進如何などにより 事務所の人員体制も今後変化すると見込まれる。また、庁舎の建築後の年数が経過するにつれ、修繕費が増加する。なお、平成 18年度からの後期基本計画で政策予定。									



# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継作業				整理番号	650		枝番号				
所属部課名		環境清掃部 西清掃事務所		コード	230630		連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	696		
係名				作業係		上位施策名				NO			
予算事業名				ごみ収集作業等		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20			
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 12 年度		根拠法令等						<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
事業終期				● 無 ○ 有 平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみ		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例							
						(3) 清掃事業移管協定							
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名 (式)								
	23区全体の広域的な施設である中継所の1つとして、杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみの積替作業を行っている。この積替えによって最終処分場まで行く清掃車を約8分の1に減らしている。				(1) 杉並 中野 練馬の3区全体の不燃ごみ中継量								
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名 (式)								
	経費の節減、不燃ごみのより効率的な処理を行う。				(1) 不燃ごみ中継比率								
				(2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													
環境負荷 (交通量、二酸化炭素) の低減に貢献している。													
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標 (1)			51,500	56,640	49,803	56,547						
	活動指標 (2)												
	成果指標 (1)			74.4	77.2	73.7	81.5						
	成果指標 (2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	604,174	710,464	673,164	692,289	特記事項					
	(内)委託費		千円	27,779	43,227	42,224	46,941						
	職員数 (正規   非常勤)		人		12.30   6.00	13.00   6.00	13.34   6.00	12.20   6.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	111,598	117,975	121,061	110,715				
		非常勤職員分		千円	0	17,634	17,796	17,796	17,796				
	総事業費 + +		千円	0	733,406	846,235	812,021	820,800					
	単位あたりコスト ÷		円		14,241	14,941	16,305	14,515					
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円									
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	733,406	846,235	812,021	820,800						
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		収集車の積載量の見直し、ビン 缶の資源ごみ収集開始により増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。 中継所周辺住民の健康不調に関して、公害等調整委員会の原因裁定があり(14.6.26)、平成8年4月から8月に原因があったが、その余の部分については棄却された。										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 要望 苦情など)		中継所の役割、事業成果が正当に評価される一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、即時に中継所の操業停止を求める意見が一部にある。										
	今後の予測		杉並中継所の安全操業を行うとともに、中継所による周辺環境への影響をより少なくするための努力を行っている。ごみの減量対策を積極的に進め、なるべく早い時期(10年以内)に杉並中継所を不要なものにしていく。										

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ処理手数料徴収			整理番号	651	枝番号		
所属部課名		環境清掃部 西・東清掃事務所		コード	230731	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	697
係名 管理係				上位施策名				NO	
予算事業名 ごみ収集作業等				コード	56295	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			
事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度 事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度 対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民全体、区内事業者及びごみ処理券取扱所				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業 (1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例(44~51条) (2) 廃棄物の処理及び再利用に関する規則(30~45条) (3) 廃棄物処理手数料の徴収に関する取扱要綱					
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ごみ処理手数料を徴収する。徴収方法としては、原則として、有料シールによるもの及び納入通知書によるものがある。				活動指標名(式) (1) 廃棄物処理手数料の収入済額 (2) ごみ処理券取扱所数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 有料シール取扱書の適正配置を行い、利便性を高める。粗大ごみ処理手数料の収入未済を防ぐ。				成果指標名(式) (1) 廃棄物処理手数料の徴収率 (2) ごみ処理券取扱所の平均距離					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民及び事業者が、廃棄物処理手数料を適正に負担することにより、不正な排出を減らし負担の公平化を図る。									

区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	千円		505856	468252	438490	461204			
	活動指標(2)	店		389	400	393	402			
	成果指標(1)	%		97	98	99	99	99	100.0	
	成果指標(2)	m		296.00	292.00	294.00	291.00			
総事業費・コスト把握	事業費	千円		41,425	41,964	31,006	36,837	特記事項		
	(内)委託費	千円		21,124	25,934	18,989	22,026			
	職員数(正規 非常勤)	人		2.80	2.35	2.15	1.97			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	25,404	21,326	19,511	17,878		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	66,829	63,290	50,517	54,715			
	単位あたりコスト ÷	円		132	135	115	119			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都等からの支出金	千円							
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0		
	差引:一般財源 -	千円	0	66,829	63,290	50,517	54,715			
	受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0			

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業系ごみの有料化は平成8年12月から開始した。除々に事業系ごみの適正なシール貼付はされてきているが、さらなる適正化を図る必要がある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	不法投棄の対応 事業系ごみだけでなく、家庭ごみの有料化の声がある。
	今後の予測	行政が家電4品目について回収しなくなったので、徴収手数料が減少し、不法投棄が多くなる。

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動物死体処理				整理番号	652		枝番号		
所属部課名		環境清掃部東清掃事務所		コード	230731	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	698	
係名		管理係		上位施策名				NO			
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	健康を支える仕組みづくり				40	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例(32条)				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する規則(19条)						
	住民全体		(3) 廃棄物処理及び手数料の徴収に関する取扱要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区民からの申し込みに応じて、また都道上及び私有地等の動物死体を収集し、処理業者に引き渡す。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民ニーズに速やかに対応し、生活環境衛生の向上及び区内美観の維持を図る。				成果指標名(式)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		動物死体処理において、住民ニーズに迅速に対応することができるとともに、区内の環境衛生の向上、美観の維持にも貢献できる。									
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値	目標値に対する13年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		頭	984	720	799	1454	1500	53.3		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		頭	984	720	799	1454				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	150	2,626	1,969	3,596	特記事項			
	(内)委託費		千円		0	0	0				
	職員数(正規 非常勤)		人		0.70	0.70	0.50	0.50			
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	6,351	6,353	4,556	4,556		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	6,501	8,979	6,525	8,152			
	単位あたりコスト ÷		円		6,607	12,470	8,166	5,606			
	財源	受益者負担分		千円		1,724	1,898	1,851	3,779		
		国都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	0	1,724	1,898	1,851	3,779		
差引:一般財源 -		千円	0	4,777	7,081	4,674	4,373				
受益者負担比率 ÷		%		26.5	21.1	28.4	46.4				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		迅速な動物死体収集の実現 行方不明の犬猫についての問い合わせがあるが、詳しく動物の特徴を記録していないので、すべてに応えられない場合がある。(理由:事故死した動物の中には、既に住民等の協力により袋に収納してある状態で回収することもある。)								
	今後の予測		平成14年度から、土木部が行っていた区道上及び区立公園内の動物死体の収集を、清掃事務所が行うこととなった。清掃事務所が取り扱う件数は一時的に増加するが、区内の取扱件数はほぼ変わらない。なお、最近、癒しを求めて、動物を飼う傾向が微増していることなので、清掃事務所の取扱件数も増加傾向にあると予想される。								

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大ごみ中継作業				整理番号	653		枝番号		
所属部課名		環境清掃部 東清掃事務所		コード	230731	連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	699	
係名		作業係			上位施策名				NO		
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する						
	し尿及び粗大ごみ		(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		活動指標名(式)								
	世田谷区が収集した(杉並区、世田谷区、板橋区)し尿を中継し、大井作業所に運搬し下水に放流する。また、区内の粗大ごみ(一部渋谷区も含む)を中継し、中央防波堤に運搬する。なお、し尿・粗大ごみのいずれも雇上車両により運搬する。		(1) 排出した、し尿量 (2) 排出した粗大ごみ量								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		成果指標名(式)									
便所の完全下水化による汲み取りの廃止及び粗大ごみのリサイクルにより収集量を減少させたい。		(1) し尿運搬台数 (2) 粗大ごみ運搬車両台数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公衆衛生の向上を図り、搬入されたし尿・粗大ごみを効率よく最終処分場へ搬出する。											
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
				計画	実績		17年度	年度			
指標	活動指標(1)	KI		3931	3900	3458	2500	2300	150.3		
	活動指標(2)	t		4681	4144	3582	3500	3000	119.4		
	成果指標(1)	台		311	313	706	510	480	147.1		
	成果指標(2)	台		975.00	937.00	2627.00	2500.00	2200.00	119.4		
総事業費・コスト把握	事業費	千円		95,728	94,377	161,386	65,297	特記事項			
	(内)委託費	千円			36,334	24,463	23,700				
	職員数(正規 非常勤)	人		0.15	0.15	0.07	0.61				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	1,361	1,361	635	5,536			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++	千円	0	97,089	95,738	162,021	70,833				
	単位あたりコスト ÷	円		24,698	24,355	41,216	18,019				
	財源	受益者負担分	千円								
		国都等からの支出金	千円								
		特定財源計 +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	97,089	95,738	162,021	70,833				
受益者負担比率 ÷	%		0.0	0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	1 便所の下水道整備は進んでいるが未だ83戸の汲み取り便所がある。 2 循環型社会形成推進基本法のもとで、家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)が平成13年4月1日から施行され、小売業者・製造業者にそれぞれリサイクルが義務付けられ、家電4品目については、粗大ごみが減少している。平成14年度から、粗大受付については杉並区独自に受け付けを行う									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)	粗大ごみの収集が、申し込み後、10日から2週間程度後になるため、速やかな収集が望まれている。									
	今後の予測	1 今後のまちづくりの中で、下水化が進む。 2 家電リサイクル法の徹底等で、粗大ごみの収集は徐々に減少すると思われる。									

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事業所の施設、建物の維持管理				整理番号	645		枝番号					
所属部課名		環境清掃部清掃事業所		コード	230831		連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	690			
係名		管理係		上位施策名				NO						
予算事業名		清掃事業所維持運営		コード	56293		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 建築基準法							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 消防法							
	清掃事業所		延床面積2,461,73㎡		高井戸分室		延床面積749.1㎡		高井戸分室車庫		延床面積1,488.95㎡		計 4,699.78㎡	
	活動内容		(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)							
	清掃事業所、高井戸分室及び高井戸分室車庫の維持管理、設備の保守委託、修理						(1) 維持管理経費 (1㎡あたりの経費)							
意図		(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)								
施設、建物を常に良好な状態に保ち、清掃事業所の機能を最大限に発揮させる。						(1)								
						(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
清掃車を確実に配車するための環境を整備し、清掃事業への信頼を高めている。														
区分	単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画	目標値		目標値に対する13年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)			4,699.78	4,699.78	4,699.78	4,699.78							
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	42,561	62,391	58,366	65,079	特記事項						
	(内)委託費		千円	19,278	33,496	30,560	38,599							
	職員数(正規 非常勤)		人		3.09   2.00	3.00   2.00	3.05   2.00	3.50   2.00						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	28,036	27,225	27,679	31,763					
		非常勤職員分		千円	0	5,878	5,932	5,932	5,932					
	総事業費 ++		千円	0	76,475	95,548	91,977	102,774						
	単位あたりコスト ÷		円		16,272	20,330	19,570	21,868						
	財源	受益者負担分		千円										
		国 都等からの支出金		千円		78	43	94	70					
		特定財源計 +		千円	0	78	43	94	70					
差引:一般財源 -		千円	0	76,397	95,505	91,883	102,704							
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		清掃事業の移管に伴い、平成12年度に建設された施設であり施設面での特段の支障は生じていないが、2年の経過に伴い、設計時には想定し得なかった問題点等が出てきている。特に、車庫も含めると3箇所に分散していることによる人的、物的非効率性は否めない。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		建設時における住民協定を遵守することが第一義ではあるが、現在までのところ事業所内及び周辺における騒音、振動、臭気、車両通行等に関する苦情、要望はない。											
	今後の予測		年数の経過に伴い、保守経費、修繕費の増加が予想される。											

# 平成14年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両（ごみ収集車）の運行及び維持管理				整理番号	646		枝番号				
所属部課名		環境清掃部清掃事業所		コード	230831		連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	691		
係名		管理係				上位施策名			NO				
予算事業名		清掃事業所維持運営		コード	56293		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20			
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		○ 無 ○ 有		平成 年度		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(2) 道路運送車両法						
	区有清掃車（ごみ収集車）		3 3 台				(3) 自動車損害賠償補償法    自動車重量税法						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区有清掃車（ごみ収集車）の運行 区有清掃車の点検、整備、車検、修理 区有清掃車の購入 自動車損害賠償責任保険への加入                      自動車重量税の支払				活動指標名（式）						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		(1) 作業計画どおりの1日29台配車する。 (2) 故障の件数を少なくする。 (3) 平成15年度末までに、低公害の車両に更新する。				成果指標名（式）							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		(1) 家庭廃棄物の収集を作業計画どおりに行うことにより、収集サービスを向上させる。 (2) 清掃車の低公害車化することにより、環境への負荷を低減させる。				(1) 配車率    配車台数 ÷ 計画台数 (2) 低公害車化率    低公害車台数 ÷ 清掃車保有台数							
区分		単位	11年度実績	12年度実績	13年度		14年度計画		目標値		目標値に対する13年度の達成率%		
					計画	実績			15年度				
指標	活動指標(1)		台		9,033	9,050	9,040	8,094					
	活動指標(2)		台		8	7	7	7		31	22.6		
	成果指標(1)		%		99.8	100.0	99.9	100					
	成果指標(2)		%		51.5	72.7	72.7	93.5		100	72.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円		90,111	96,418	73,352	85,422		特記事項			
	(内)委託費		千円		0	115	0	65					
	職員数(正規   非常勤)		人		52.00   0.00	53.00   0.00	56.52   0.00	48.50   1.00					
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	471,796	480,975	512,919		440,138			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0		2,966			
	総事業費 + +		千円	0	561,907	577,393	586,271		528,526				
	単位あたりコスト ÷		円		62,206	63,800	64,853		65,298				
	財源	受益者負担分		千円									
		国 都等からの支出金		千円		5,792	27	4,527		1,607			
		特定財源計 +		千円	0	5,792	27	4,527		1,607			
差引：一般財源 -		千円	0	556,115	577,366	581,744		526,919					
受益者負担比率 ÷		%		0.0	0.0	0.0		0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		清掃事業の移管に伴い、平成12年度から開始された事業である。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待 要望 苦情など)		運転マナーに対する苦情はあるが、直営車、雇上車いずれに対するものかは断定できない。										
	今後の予測		ごみ量の減少が続いていることから、保有台数の削減が将来的には見込まれる。また、清掃車の買い換えに際しては、杉並区内に天然ガス充填所が開設予定であることから、より低公害な天然ガス車を可能な限り導入していく。										